

第2次 登別市文化振興基本計画

市民一人ひとりが自主的、主体的に
ふるさと登別の文化の創造に関わるとともに、
文化遺産の保護継承と活用に努め、
子どもたちが夢と希望を持って世界に羽ばたき、
文化の多様性を認識し、
私たちが住むこの土地への誇りと
生きがいを感じられる
個性ある文化活動と文化を育む環境づくりを
進めるための計画

平成27年9月
登別市教育委員会

はじめに

平成17年に、登別市で初めての文化に関する計画である「登別市文化振興基本計画」が策定されてから、10年が経過しました。この間、本市における文化芸術を取り巻く環境は大きく変化してきました。

変化の中においても、計画の中で施策として位置づけられていた文化財の専門家である学芸員の配置や埋蔵文化財の展示・保管施設の設置、そして市民が中心となって開催された文化芸術鑑賞会、文化活動の担い手育成につながる日々の活動、本市出身である知里幸恵さんの記念館の開館や弟である真志保さんの生誕記念フォーラムの開催をはじめとするアイヌ文化の振興など、行政だけでなく多くの市民の主体的な活動により、本市の文化は振興されてきました。

このような成果と文化を取り巻く状況の変化を踏まえた上で、次の10年に向けた方針を定めるため、公募や文化団体の推薦による市民11名の委員からなる「登別市文化振興基本計画検討会議」にて審議を重ね、このたび「第2次登別市文化振興基本計画」を策定いたしました。

これまでの成果はもちろんありますが、新たな内容も含めた本計画に沿って、市民、文化団体、学校、企業、行政などが自主的、主体的に登別市の文化を振興することにより、「文化」が本市の魅力として内外に広がり、将来の登別市の大きな力になるものと確信しております。

終わりに、本計画の策定に当たり、ご尽力いただきました委員の皆さまをはじめ、アンケートにご協力いただきました市民の皆さま、関係の方々に厚くお礼を申し上げます。

平成27年9月

登別市教育委員会

教育長 武田 博

第1章	総論	1
第1節	計画策定の趣旨	
第2節	文化振興の意義	
第3節	計画の性格	
第4節	計画の構成	
第5節	計画の期間	
第2章	市民文化活動の活性化	3
第1節	現状と課題	
	市民の文化活動の広がり / 文化芸術の鑑賞 / 文化活動や文化芸術鑑賞のための施設整備	
第2節	目 標	
第3節	施策の方向	
第3章	文化活動を担う人づくり	5
第1節	現状と課題	
	団体活動を通じた文化の担い手づくり / 文化芸術を通じた文化の担い手づくり	
第2節	目 標	
第3節	施策の方向	
第4章	歴史・文化の伝承と活用	7
第1節	現状と課題	
	歴史を語る文化財 / 歴史・文化を学ぶ場 / 文化財の保存と施設の周知	
	歴史・文化の伝承 / 歴史・文化の調査研究と活用	
第2節	目 標	
第3節	施策の方向	
第5章	アイヌ文化の振興	10
第1節	現状と課題	
	アイヌの人たちの歴史 / 登別市にゆかりのある研究者たち / アイヌ文化の復元と伝承	
	私たちの住む土地が育んだ大切な文化	
第2節	目 標	
第3節	施策の方向	
	「登別市文化振興基本計画検討会議」委員一覧 / 検討会議開催日	13
資料	【アンケート】	15
アンケート結果		17
1	調査の目的	
2	調査について	
3	結 果	
アンケート		29
アンケート数値一覧		32
参考データ	登別市における将来推計人口	40

第1章 総論

第1節 計画策定の趣旨

文化芸術振興基本法（平成13年法律第148号）（以下「基本法」という。）の施行後、わが国では、基本法第7条第1項の規定に基づき、文化芸術の振興に関する基本的な方針が策定され、施策の総合的な推進が図られてきました。

登別市では、平成8年に策定した登別市総合計画基本構想に定める「人が輝き まちがときめく ふれあい交流都市 のぼりべつ」の実現を図るために策定された、第1期基本計画（平成8年度（1996年度）から平成17年度（2005年度））、その後の第2期基本計画（平成18年度（2006年度）から平成27年度（2015年度））において、登別市における文化振興の基本的な方向性が示されました。

これらの文化振興の方向性をさらに具体化するため、平成17年（2005年）3月に登別市文化振興基本計画が策定され、必要に応じて計画を見直すことが定められたため、この10年間での登別市における文化を取り巻く状況の変化を踏まえ、このたび第2次登別市文化振興基本計画を策定するものです。



◆平成17年（2005年）に策定された第1次登別市文化振興基本計画

第2節 文化振興の意義

前回、平成17年（2005年）の計画策定から10年を経過する間に、リーマン・ショックを代表とする世界的な経済状況の悪化や、価値観の変化と多様化、国際化の進展、少子高齢化、情報通信技術の急速な発達と普及など、社会の急激な変化により、私たちを取り巻く文化や歴史に対する価値観、環境は影響を受けてきました。

また、記憶に新しい平成23年（2011年）3月の東日本大震災では、多くの生命や財産とともに土地に根差した文化や歴史資料も失われ、多くの方々が、慣れ親しんだ土地を離れざるを得なくなるなど、現在でも心の喪失や困難な生活を強いられています。

このような中、復興を進めるうえで、地域をつなぐ郷土芸能やコンサートなどの文化芸術が人々の心を癒し、生活に精神的な安らぎや感動を与え、また居住移転先で発掘された歴史に触れることで、新たな土地への愛着が創出される様子を目の当たりにし、文化や歴史が、人が生きるうえでの心の拠り所となっていることを私たちに強く印象づけました。

文化は、人々の個性を伸ばし創造性を養うとともに、心豊かな生活を実現していくうえでかけがえのないものであり、社会的財産です。また、その活動は趣味的なものから専門的なものまで、幼児から高齢者まで、そして個人から団体までと幅広く、登別市においても多様な活動が展開されてきました。

そして、すべての市民が創作を楽しみ、鑑賞し、そして情操を豊かにして人間性を高めるため、文化芸術に接する機会を充実、市民一人ひとりが文化創造の担い手であることを啓発することは、文化溢れるゆとりと生きがいのある魅力的なまちづくりを進めて行くうえで欠かせないものです。

また、私たちの住むこの登別市に先人が遺した文化遺産や、今も続くアイヌ文化などの伝統文化は、ふるさとの生活や歴史を理解するだけでなく、土地と人の結びつきを強くし、豊かな人間性や文化の多様性を育てていくうえで欠くことのできない、私たちのまちの礎となる貴重な共有財産であることから、積極的な保護と活用、またその基礎となる調査研究を図っていくことが必要です。

これらのことから、市民一人ひとりが自主的、主体的にふるさと登別の文化の創造に関わるとともに、文化遺産の保護継承と活用に努め、子どもたちが夢と希望を持って世界に羽ばたき、文化の多様性を認識し、私たちが住むこの土地への誇りと生きがいを感じられる個性ある文化活動と文化を育む環境づくりを進めるためにも、積極的に文化の振興を図っていく必要があります、この重要度が増してきています。

第3節 計画の性格

- (1) 登別市の文化振興に関する基本的・総合的な計画です。
- (2) 登別市総合計画及び登別市社会教育中期計画に連なる計画であり、具体的な方向性を示すものです。
- (3) 市民一人ひとりが地域において文化活動する際の基本的な指針を示すものです。
- (4) 計画の実施に当たっては、市民・文化団体・学校・企業・行政などに自主的、主体的、積極的な参加を求めるとともに、相互に連携を図りながら推進するものです。

第4節 計画の構成

本基本計画は、第1章以降「市民文化活動の活性化」「文化活動を担う人づくり」「歴史・文化の伝承と活用」「アイヌ文化の振興」の4章を設け、全5章で構成しました。各章は、今回の策定にあたり実施した市民アンケートの結果と検討会議での意見を基にした「現状と課題」、そして「目標」、これらに対応する「施策の方向」で構成されています。

第5節 計画の期間

本基本計画は、平成27年度(2015年度)を初年度とし、おおむね10ヶ年を目途に進め、必要に応じて見直しを行なうものとします。

第2章 市民文化活動の活性化

第1節 現状と課題

市民の文化活動の広がり 市民の文化活動は、昭和40年（1965年）に登別市文化協会が発足したことで大きな一歩を踏み出したと言えます。市民文化祭や文化講演会の開催、文芸誌『市民文芸のぼりべつ』の発行、また平成22年（2010年）からは市民活動センターのぼりんで文化講座を担うなど活発な活動が行われており、市民の文化活動の中核を担っています。また、近年では、登別市文化協会を中心に、姉妹都市との交流が行なわれており、市民の文化活動が広がりつつあります。

また、平成8年（1996年）には市民参画の文化・スポーツの環境づくりを目的に登別市文化・スポーツ振興財団が設立され、登別市文化協会等の関係団体と連携し、市民文化祭や文化講演会の共催のほか、各種文化教室や文化芸術鑑賞事業などを開催して、文化活動の機会の拡充に努めています。このような幅広い分野での文化活動の展開により、市民の文化に対する理解がより深まりました。

しかし近年、講座等においては参加者の固定化が見られており、文化活動の拡充を図ることも課題になっています。文化に興味や関心を持ちながらも、仕事や子育てなどで時間の余裕がないこと、また経済的な余裕がないことなどを理由に文化活動をしない市民もあり、これらの市民も参加しやすい環境の創出とより一層の情報発信が求められています。

文化・芸術の鑑賞 登別市は、室蘭市、苫小牧市といった中規模都市に隣接し、札幌市へも鉄道で約1時間半程度の距離に位置しているなど、他都市で開催される文化・芸術の鑑賞機会を比較的容易に得やすい環境にあります。そのため、多くの市民が登別市・室蘭市・伊達市という近隣、また近隣で開催されない事業については札幌市などの大都市まで足を運び鑑賞しています。

市内で開催される鑑賞事業は、登別市文化・スポーツ振興財団や西胆振3市3町合同によるもののほか、市民を中心とした実行委員会などによって、文化に触れる機会は拡充されてきました。しかし、事業情報の広報手段が限られていたり、興味のある鑑賞事業がないと感じている市民がいるなど情報の伝達と魅力的な事業の企画が市民に求められています。



◆市民の活動発表の場となっている市民文化祭



◆陶芸などの各種文化教室が開催されている

文化活動や文化・芸術鑑賞のための施設整備

これらの鑑賞事業や日常の文化活動の場所となっている市民会館や公民館などの公共施設は、昭和40年代から文化活動や生涯学習活動を支える施設としてこれまで整備されてきました。しかし、多くの施設が建設から相当の年数が経過し、設備の老朽化が進んでいることから、安心・安全に文化芸術を鑑賞し、文化活動を行うことができるよう計画的な施設整備が必要となっています。また、文化活動における公共施設の利用は年代が上がるほど高いことから、今後も施設のバリアフリー化を進めていくことが必要です。



◆昭和58年(1983年)に開館した登別市民会館

第2節 目標

市民一人ひとりの個性を伸ばし豊かな感性や創造性を育むとともに、心豊かな生活を送ることができるよう、だれもが文化に親しむことのできる環境の充実を図っていきます。

第3節 施策の方向

- (1) 市民の自主的な文化活動の成果を発表する機会の充実と、参加しやすい環境の整備に努めます。
- (2) 文化活動の機会と内容の拡充を促進するため、登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会などの文化団体に対して支援を行うとともに、これらの団体との連携、協働にも努めます。
- (3) 文化活動や文化・芸術鑑賞に関する情報を、様々な方法を活用して市民に提供していきます。
- (4) 多彩な文化・芸術鑑賞に親しめる機会と内容の充実を図るとともに、市民が実施する取り組みを支援していきます。
- (5) 安心・安全に文化活動、また文化・芸術鑑賞を行うことができるよう施設整備を図っていきます。

第3章 文化活動を担う人づくり

第1節 現状と課題

団体活動を通じた文化の担い手づくり 現在、文化活動をしている人の多くが10～20代の若者や高齢者であり、とくに高齢者においては、サークルなどの団体に所属して文化活動をしています。そのため、高齢化による会員の減少が進み、文化活動の継続が難しくなっています。さらに、団体同士が交流できる機会も少なく、文化活動団体の情報を入手できる手段も限られていることから、文化活動を担う新たな会員の確保が課題となっています。

また、活動していない世代の多くは、前回の計画策定時の状況と同じようにある程度文化に関心はあるものの、現役世代であり、子育て世代であるため時間的な制約を受けており、また経済的な理由から文化活動を担うことができない状況です。

次代の文化活動を担うとされる学校での文化系部活動は、昭和60年頃（1985年）をピークに市内の14歳未満の人口が年々減少傾向にあることから、以前に比べ人員の減少、小規模化が進行しています。今後もこの傾向は進んでいくことから、このような状況において、文化活動の担い手の育成をどのように進めていくのかが大きな課題となっています。



◆昭和60年(1985年)以降、市内の14歳未満の人口は減少傾向にある

文化芸術を通じた文化の担い手づくり 多種多様な文化芸術に触れることで、豊かな感性や創造性が育まれることから、子どもたちが次代の文化活動の担い手となるよう学校においてもその機会が設けられていますが、現在の授業時間や財政のなかでは限られた機会となっているのが現状です。児童生徒数の減少とともに、学校における文化系部活動の人員も減ることから、大人も含めた多彩な文化芸術に触れる機会と内容の充実が求められています。また、文化活動をしていない人が参加できるような機会を充実し、文化活動の担い手のすそ野を広げていくことが課題と言えます。

第2節 目 標

文化溢れるゆとりと生きがいのある魅力的なまちづくりを進めていくために、団体活動を通じた人と人との交流や文化芸術に触れる機会の充実を図り、文化活動の担い手のすそ野を広げていきます。

第3節 施策の方向

- (1) 文化団体の活動を活性化するため、団体同士の交流や活動情報の提供に努めます。
- (2) 子どもたちの豊かな感性や創造性を育むため、登別市文化・スポーツ振興財団や登別市文化協会などの文化団体と協働しながら、学校教育との連携を深めていきます。
- (3) 子どもたちが次代の文化活動の担い手となるため、また大人がその環境を整備していくために、文化・芸術鑑賞の内容と機会の拡充を図っていきます。
- (4) 文化活動の担い手のすそ野を広げるため、団体活動の支援などを通して人材育成を図るとともに、地域の人材の発掘と活用に努めます。
- (5) 文化活動の担い手のすそ野を広げるため、姉妹都市など他地域との交流を広げるとともに、その支援に努めます。

第4章 歴史・文化の伝承と活用

第1節 現状と課題

歴史を語る文化財 登別市には、ダイナミックな地球環境を知ることのできるクッタラ火山により形成された登別化石林、縄文時代を中心とした遺跡（埋蔵文化財）、現在までも続くアイヌ文化、明治以降の片倉家臣団や四国などからの北海道移住、幌別鉱山、そして登別市の名を世界的に広めている温泉に関するものなど、ふるさと登別において先人たちの歩んできた歴史を知ることができる文化財が数多く遺されています。



◆左上：クッタラ火山の噴火で形成された登別化石林
右上：アイヌのメカジキ漁で使ったキテ（鉞）／郷土資料館
左下：市内で出土した縄文土器／カント・レラ
右下：明治はじめに移住した片倉家家臣の文書／郷土資料館

歴史・文化を学ぶ場 これらの文化財は、市内においては郷土資料館やのぼりべつ文化交流館カント・レラなどの公共施設のほか、私立博物館などで展示、保管されており、見学して学ぶことができます。しかし、登別市では長く専門の学芸員が配属されておらず、文化財の展示や保管については市民の支えを受けて行われてきましたが、現在は学芸員が配属され、様々な特別展示が行なわれるなど、登別市にある貴重な文化財を後世に伝えるための適切な処置が施されるようになってきました。

文化財の保存と施設の周知 郷土資料館においては、昭和56年（1981年）に開館して以来、多くの市民から郷土に関する文化財が寄贈されてきましたが、収蔵庫が狭小であるため、資料の整理や適切な保管が課題となっていました。平成24年（2012年）から、学芸員を中心に再整理が行われましたが、依然として収蔵庫の飽和は課題であり、市民が資料を預けるのを躊躇しているとの声もあることから、登別市の財産として適切に保存するだけでなく、大切な資料を収集していくためにも新たな収蔵庫の整備が必要となっています。



◆建築から年月が経過し、収蔵庫が飽和状態の郷土資料館



◆平成19年(2007年)、旧登別温泉中学校を再生し、開館したのぼりべつ文化交流館カント・レラ

一方、前回の計画時に示された埋蔵文化財出土品を保管し、市民が学習、体験できる施設については、平成19年(2007年)に旧市立登別温泉中学校を改修して開館した「のぼりべつ文化交流館カント・レラ」ができ、その役割を果たしていますが、市街地から離れていることもあり、その知名度を高めるさらなる情報の発信が求められています。

歴史・文化の伝承 登別市では、とくに地域において重要な価値を持つ文化財を指定しており、現在までに有形5件、無形2件が登録されてきました。しかし、無形の民俗文化財においては、「札内神楽獅子舞」が、地域の若者の減少などから継承ができなくなり、平成25年(2013年)に指定が解除される事態となるなど、担い手の育成など継承する環境が大きな課題となっています。また、その他にも「幌別駒踊り」や「熊舞」のような各地域で創作された芸能も同様の課題があります。

歴史・文化の調査研究と活用 市の指定文化財は、平成11年(1999年)を最後に新たな指定が行なわれていませんが、市内には多くの文化財が先人たちの努力により遺されていることから、これらの調査研究を進めるとともに、だれもがこの文化財の情報を得ることができるよう、普及啓発、活用を図っていくことが重要となっています。また、新たに指定文化財とすることで、土地に対する誇りが生み出されるだけでなく、次世代の文化の向上や発展のためにしっかりと継承させていくことができます。

第2節 目 標

登別市に伝わる文化遺産を大切にし、自分たちが住む土地への愛着を感じることができるよう、ふるさと登別の歴史と文化を学び、次世代へ継承します。

第3節 施策の方向

- (1) ふるさとの歴史や文化に対する理解や学びを促進させるため、博物館施設における展示や機能の充実を図るとともに、活動の情報を発信していきます。
- (2) 歴史や文化を後世に伝えるため、学芸員の増員などの充実を図り、また、魅力ある博物館運営や文化財の適切な保存方法などの向上に努めます。
- (3) 市民の共有財産である文化財を適切に保管し、後世に継承するため、郷土資料館の収蔵庫の整備を進めていきます。

- (4) 市内の民俗芸能の育成と継承の取り組みを支援するとともに、記録保存に努めます。
- (5) 登別市と歴史的関係の深い地域も含めた歴史・文化の調査研究を進め、その成果の公開・活用を図るだけでなく、新たな指定文化財を指定することで、市民のふるさと登別に対する誇りを生み出し、地域文化の振興を図っていきます。

第5章 アイヌ文化の振興

第1節 現状と課題

アイヌの人たちの歴史

北海道では、縄文時代以来の人々の生活が13世紀以降にアイヌ文化として花開き、その恵まれた自然環境のなか本州や大陸との交易を重ね、豊かな精神文化を中心とした生活を営んできました。

登別市内にも、「登別（ヌプルベツ）」をはじめとしたアイヌ語を由来とする多くの地名が残されており、コタンと呼ばれる村があったことも古文書に記録されています。

しかし、明治時代以降の「開拓」が進むなか、アイヌの人たちは伝統的な儀礼や風習、自由な山での狩りや海での漁の禁止、和名への改名などの同化政策により、伝統的な生活



◆アイヌ文化の中で儀式に使われた道具
左：トゥキ（天目台杯） 右：エムシ（儀礼刀） / 郷土資料館

を続けることが困難な状況を強いられることになりました。そして、民族の核といえる独自の言葉自体も次第に失われ、現在では話せる人も少なくなりました。

登別市にゆかりのある研究者たち このような中であって、登別市ではユカラと呼ばれるアイヌの伝承を初めて日本語とローマ字で記録した『アイヌ神謡集』の著者である知里幸恵、弟でアイヌ語研究の基礎を確立した言語学者の知里真志保、ユカラのローマ字筆録を行い、2人の伯母である金成マツなどが輩出され、アイヌの人たち自身の手によって

偉大な功績が残されました。また、知里真志保の友人でもあったアイヌ語地名研究者の山田秀三も登別市にゆかりがあるなど、登別市はアイヌ文化研究者の多くの成果が蓄積された地域でもあります。

また、NPO法人知里森舎の精力的な活動により、平成22年（2010年）には知里幸恵銀のしずく記念館が開館し、その生い立ちやアイヌ文化への深いまなざしなどが紹介され、アイヌ文化を広く伝える場として国内外の方々が見学に訪れています。しかし、開館してから日が浅く、市民の認知度はまだ低いのが現状です。



◆平成22年（2010年）に開館した知里幸恵銀のしずく記念館

アイヌ文化の復元と伝承 アイヌ文化の復元と伝承については、登別アイヌ協会（旧北海道アイヌ協会登別支部）によるペッカムイノミなどの生活文化に関する伝統的な儀礼の開催、「知里真志保を語る会」によるアイヌ文化や歴史に関する講演会や『アイヌ神謡集』や『室蘭・登別のアイヌ語地名』の復刻版の発行、市民団体による刺繍教室とアイヌ民族衣装展が開催されています。また、平成15年（2003年）には、NPO法人知里森舎による「知里幸恵の生誕百年記念事業」や北海道ウタリ協会（現北海道アイヌ協会）による「アイヌ民族文化祭」、平成21年（2009年）には知里真志保を語る会を中心とする実行員会による「知里真志保の生誕百年記念事業」が開催されるなど、様々な事業が実施されただけでなく、平成22年（2010年）からは行政によるアイヌ文化を知るための市民講座が開催され、市民のアイヌ文化を学ぶ機会が充実されるとともに関心が高まりつつあります。



◆平成21年（2009年）に開催された「知里真志保生誕百年記念事業」

しかし、アイヌ文化を伝承する団体の高齢化や経済的理由による伝承者の不足など、アイヌ文化を次世代に伝承していくための課題の解決が急務です。

私たちの住む土地が育んだ大切な文化 平成20年（2008年）、国会において「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が全会一致で決議され、それに関する内閣官房長官談話を踏まえ、アイヌ政策がさらに推進されています。また、平成32年（2020年）には、白老町にアイヌ文化の復興等を促進するための象徴空間と国立博物館の整備が計画されており、アイヌ文化への理解と後世への継承が国によって取り組まれています。

しかし、アイヌ文化をこの土地で育まれた大切な文化として誰もが認識し、市民一人ひとりの共有財産としていくには数多くの課題があり、市民のアイヌ文化に対する基礎的な知識とともに、広く少数民族への理解など多様な文化を受け入れることのできる人づくりも必要とされています。

第2節 目 標

アイヌ文化が、この土地で育まれた大切な文化であることを認識し、共に生きる先住民族であるアイヌの人たちへの理解を深めるとともに、私たちの共有財産として後世へ継承していくことに努めます。

第3節 施策の方向

- (1) この土地で育まれたアイヌ文化の復興のため、博物館などの関係機関と連携・協働し、調査研究を進めるとともに、関係団体との相互扶助を図ります。
- (2) 登別市にゆかりのあるアイヌ文化研究者の成果を市民に紹介するため、博物館施設での展示や学校教育での活用など、関係団体との連携を図っていきます。
- (3) 市民がアイヌの人たちや少数民族の文化に関する知識等を学ぶことができる講座などを開催し、歴史や文化を正しく理解できる人づくりに努めます。

「登別市文化振興基本計画検討会議」委員一覧

	氏名	選出分野	所属団体等	備考
1	藤井 彰	一般公募	ブティック HANA	
2	合田 克己	アイヌ文化	登別アイヌ協会	会長
3	横山 むつみ	アイヌ文化	NPO法人知里森舎	理事長
4	熊野 正宏 (座長)	文化	登別市文化協会	会長
5	山田 新一	文化	登別市文化協会	副会長
6	小塚 順一	文化	登別市文化協会	事務局長
7	大坂 倫一	文化	登別市文化協会	
8	街道 重昭 (副座長)	文化財	登別市文化財審議会	委員長
9	小林 正明	文化財	登別市文化財審議会	副委員長
10	高田 憲輝	関連	登別市文化・スポーツ振興財団	専務理事
11	川島 芳治	関連	登別市社会教育委員の会	委員長

検討会議開催日

第1回 平成26年9月30日(火)

- ・現在の計画について
- ・検討会議の進め方
- ・計画の説明とその成果について

第2回 平成26年11月5日(水)

- ・アンケートについて
- ・登別市の文化を取り巻く現状と課題について
- ・検討会議のスケジュールについて

第3回 平成27年1月20日(火)

- ・アンケート結果について
- ・総論及び第1～5章について

第4回 平成27年2月17日(火)

- ・第1～5章について
- ・その他

第5回 平成27年3月17日(火)

- ・第1～5章について
- ・その他

資料【アンケート】

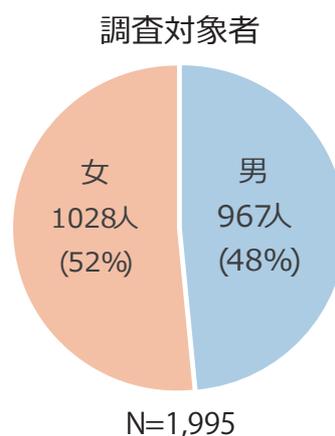
アンケート結果

1 調査の目的

このアンケート調査は、「第2次登別市文化振興基本計画」を策定するための基礎資料とするため、登別市の文化と歴史について実施したものです。

2 調査について

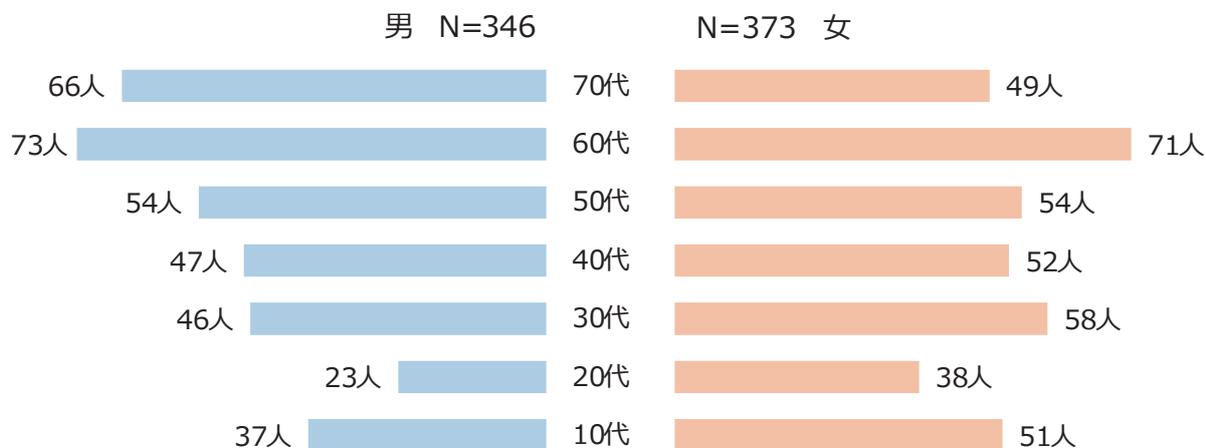
- (1) 地域 登別市全域
- (2) 対象 15歳から85歳までの市民、男女1,995名を年代別（同数）に無作為抽出しました。世代は、20代が20～29歳のよう
に10歳単位ですが、10代は15歳からとし、70代は85歳まで含んでいます。
- (3) 方法 郵送による調査用紙の送付
- (4) 期間 平成26年11月8日～11月28日



3 結果

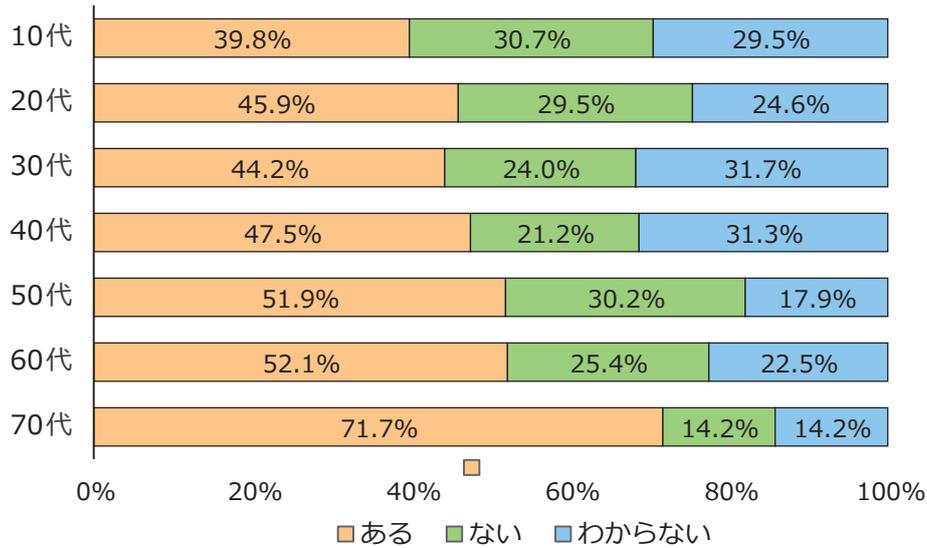
- (1) 回収数 719名（36%） ※「N」は設問に対する回答者数（母集団）
- (2) その他 アンケートデータはP32～39に掲載しています。

男女別回収数



問1 文化に関心がありますか？

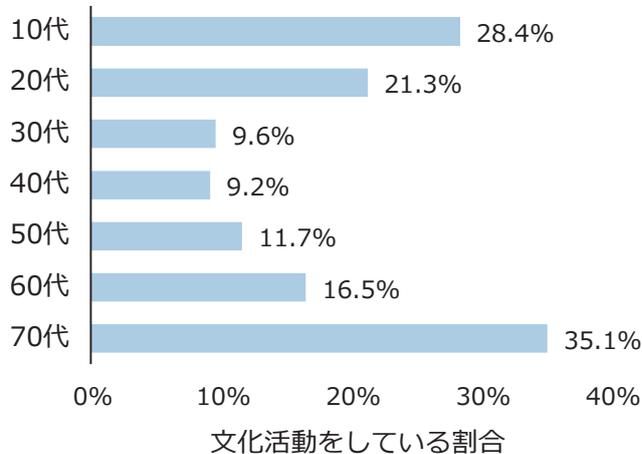
N=713



◆ 文化への関心は、最も低い10代が39.8%、そして70代の71.7%を最大に世代が上がるにつれ割合が増加し、世代と強く関係していることがわかります。

問2 文化活動をしていますか？

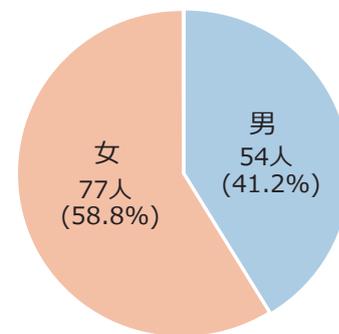
N=704



問2 参考

文化活動をしている男女の割合

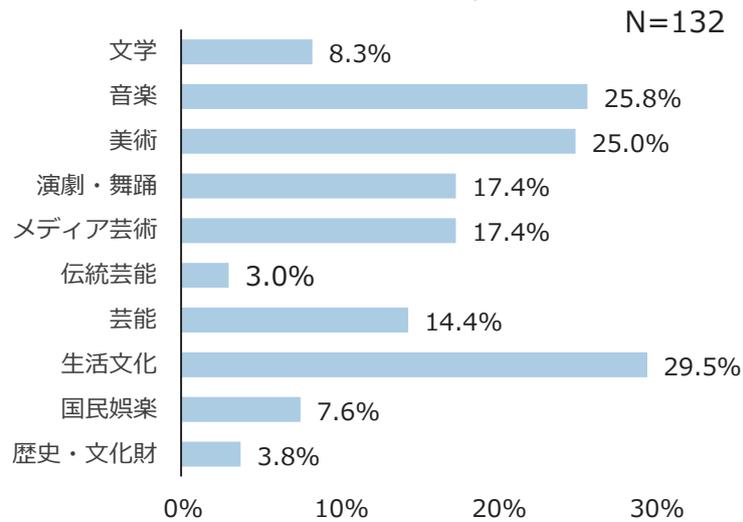
N=131



◆ 文化活動をしている比率は、30～40代が10%以下と最も低くなっており、この世代を中心に10代28.4%、70代35.1%と高くなっています。10～20代は、映画鑑賞や漫画などのサブカルチャーの割合が高い可能性があると思われます。問1との関係からは、文化への関心はある程度あるものの、実際の活動は少ないことが読み取れます。また、30～40代が低い割合である理由は、この世代は仕事の現役世代であるだけでなく、子育てなどにおいても多くの時間を必要とする世代であるためとも考えられます。

問3-1 よくしている活動は何ですか？

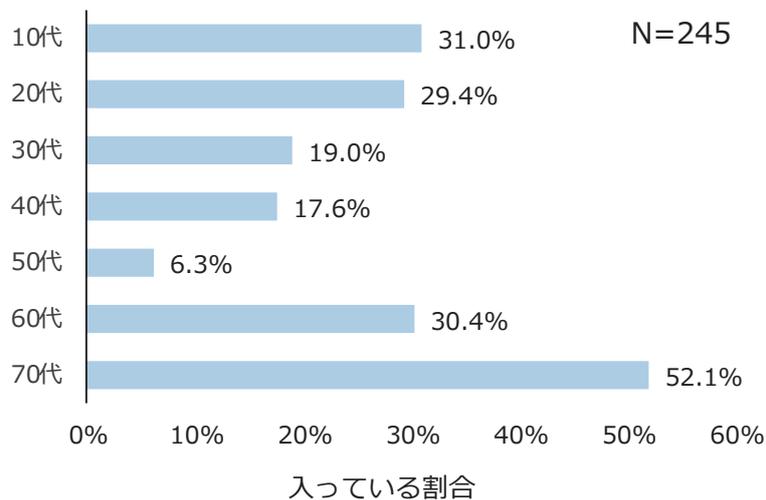
(複数回答)



◆ 問3は問2で「文化活動をしている」と回答した方のみです。

生活文化（茶・花・園芸・書・料理など）が最も高く、次に音楽（演奏・合唱・民謡など）、美術（絵画・工芸・写真など）が続きます。

問3-2 サークルや団体、教室に入っていますか？

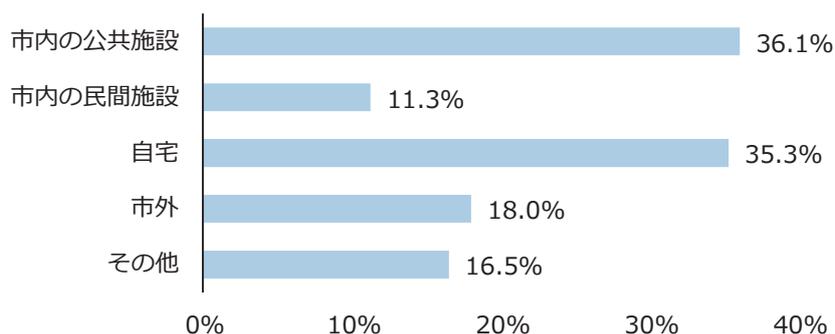


◆ 文化活動をしている人の加入率は、6.3%と最も低い50代を中心に高くなっています。仕事の現役世代であるためか30～50代は少ない傾向が見られます。問2の文化活動の結果と比較的類似しています。

問3-3 どこで文化活動をしていますか？

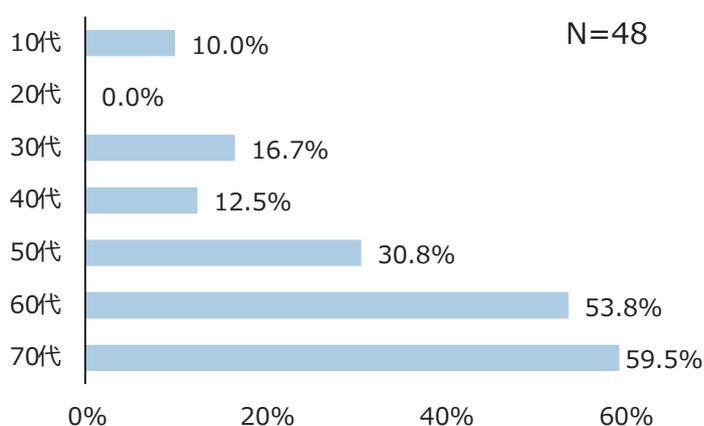
(複数回答)

N=133



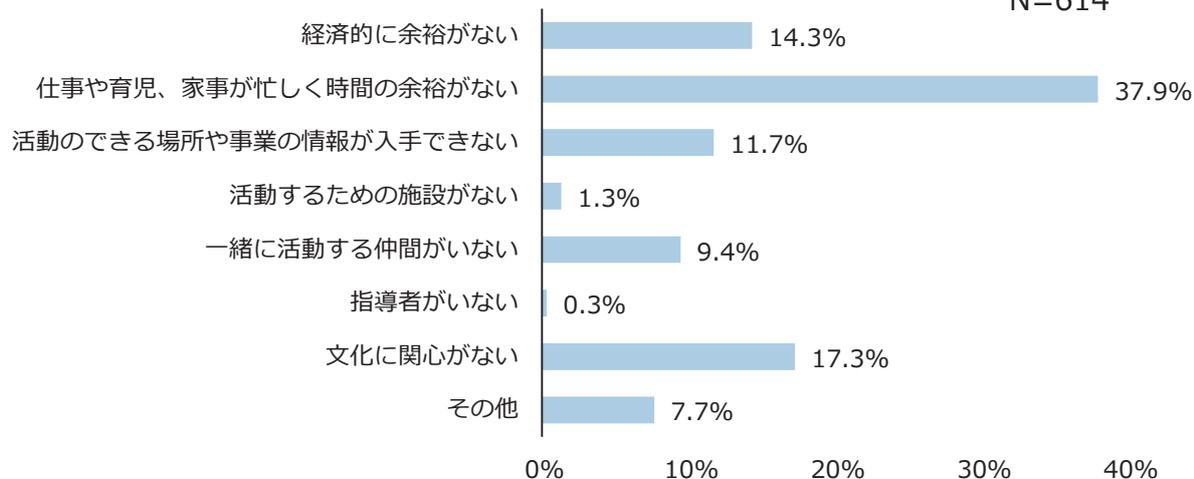
問3-3 参考 市内の公共施設利用者

◆ 公共施設と自宅での活動が約70%と多くを占めています。そのうち市内の公共施設の利用を世代別で見ると、50代以降の割合が高くなっており、それ以下の年代はそれぞれ50代の数値の半分以下で、その差が顕著です。



問4 文化活動をしていないのはなぜですか？

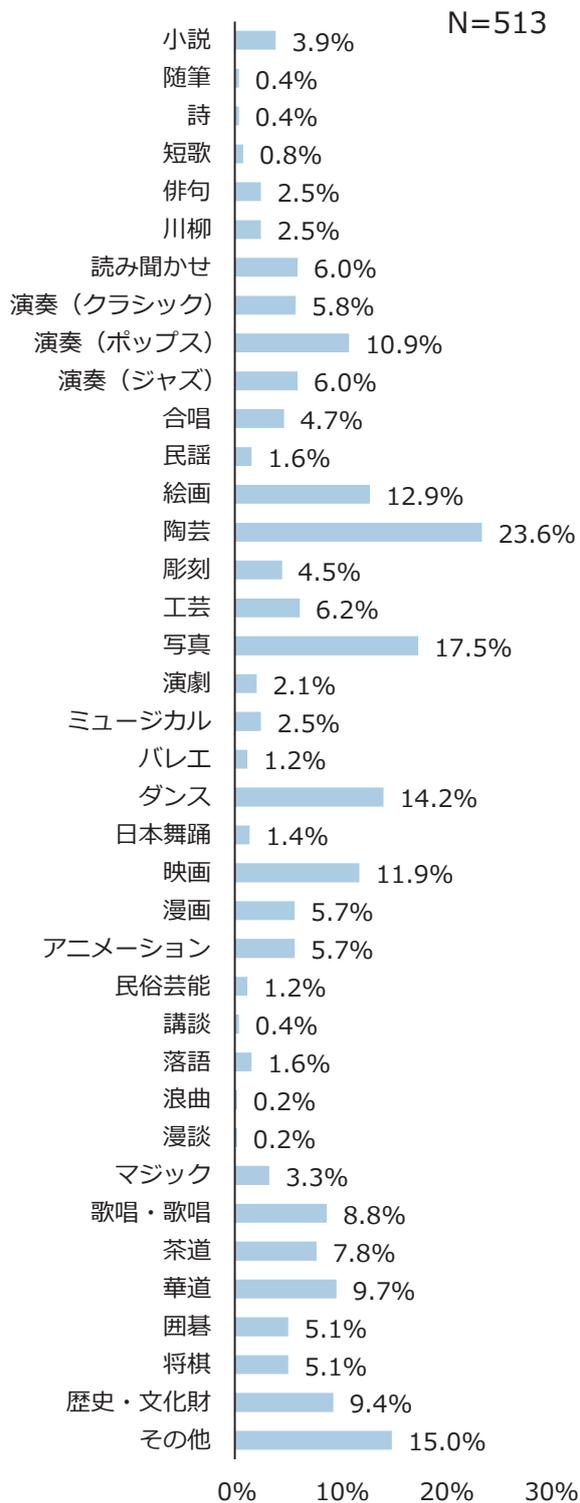
N=614



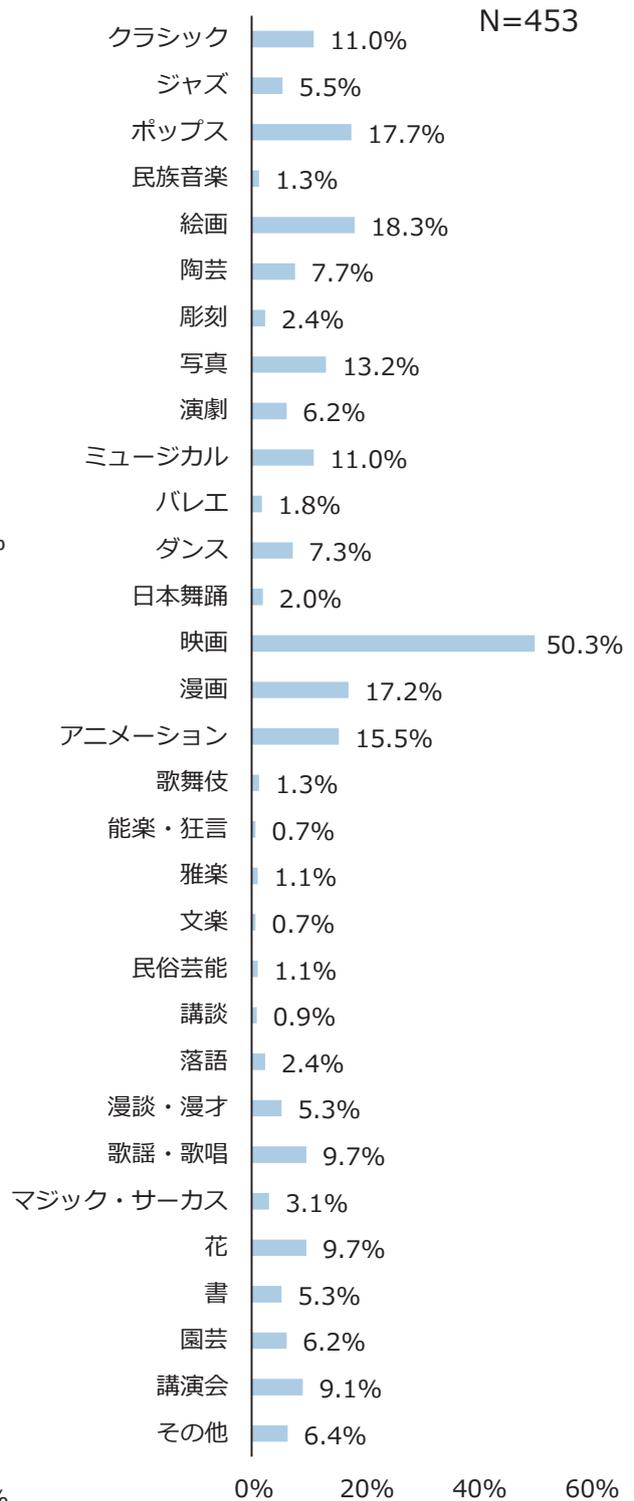
◆ 問2で文化活動をしていない方への質問です。

文化活動をしない理由として、最も多いのが37.9%の「仕事や育児・家事が忙しく時間の余裕がない」でした。これを世代別で見ると、20～50代で、それぞれ約5割ほどがこの理由をあげています。

問5 これからも、または今後してみたいと思う活動はどれですか？
(複数回答)



問6-1 この1年間で鑑賞したものはどれですか？
(複数回答)



◆ (問6-1) 映画が最も多くあげられました。世代別はグラフ化していませんが、70代の割合が低いため、施設までの交通の問題が考えられます。また、漫画・アニメーションは10～20代、絵画は60～70代で高く、世代による差がありました。

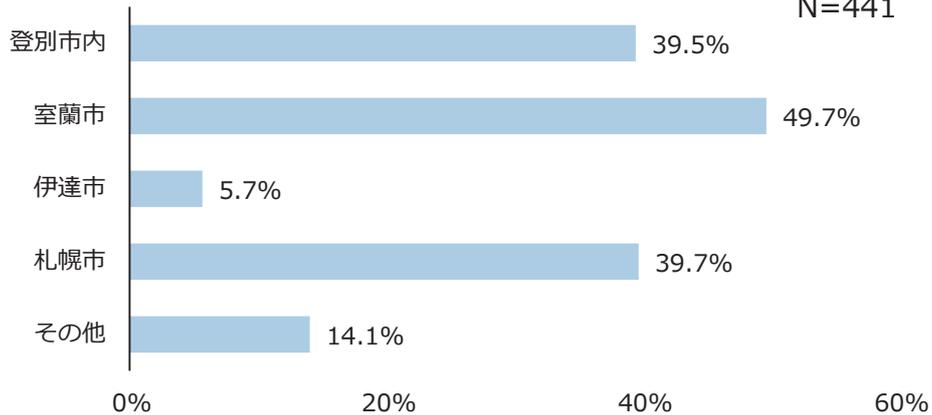
問 6-1 参考 この1年間で文化芸術を鑑賞した人の割合

N=719



問 6-2 どの地域で鑑賞しましたか？
(複数回答)

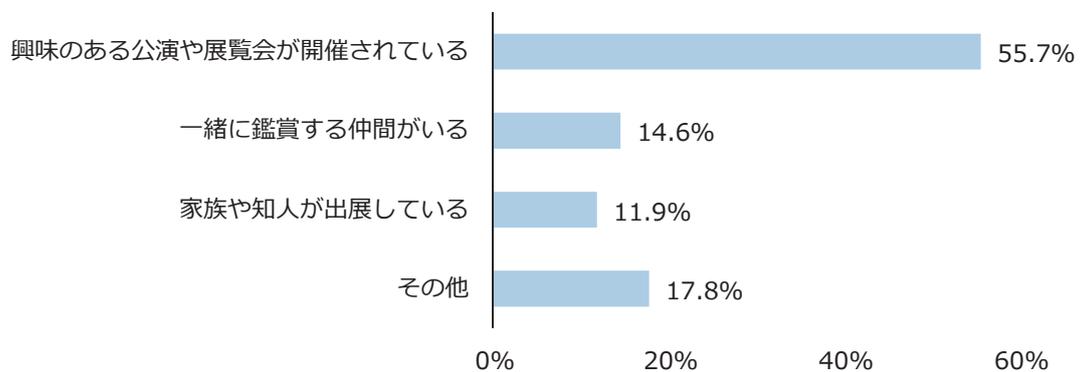
N=441



- ◆ 登別市と室蘭市・伊達市での鑑賞は約 90%であり、多くの方が近隣で鑑賞していることがわかります。とくに室蘭市においては、映画館があるため数値が高いものと思われます。

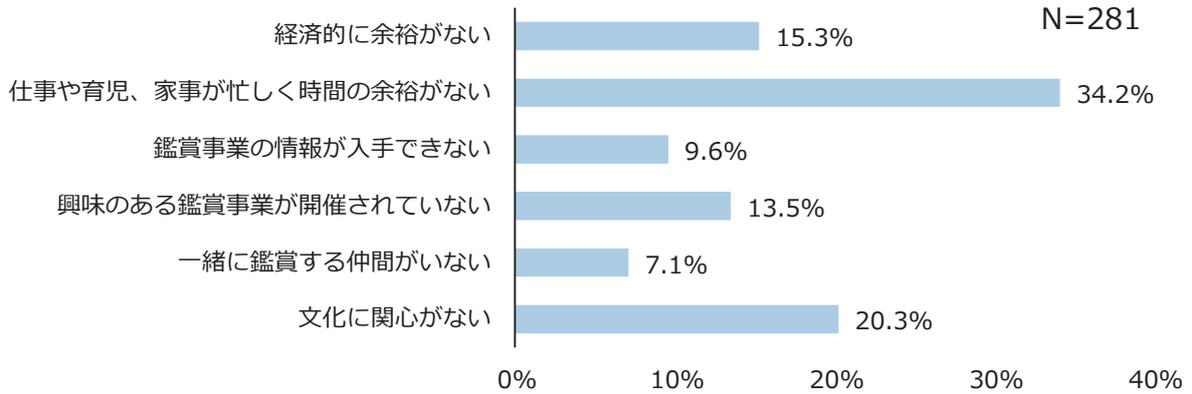
問 6-3 なぜ市外で鑑賞しましたか？

N=370

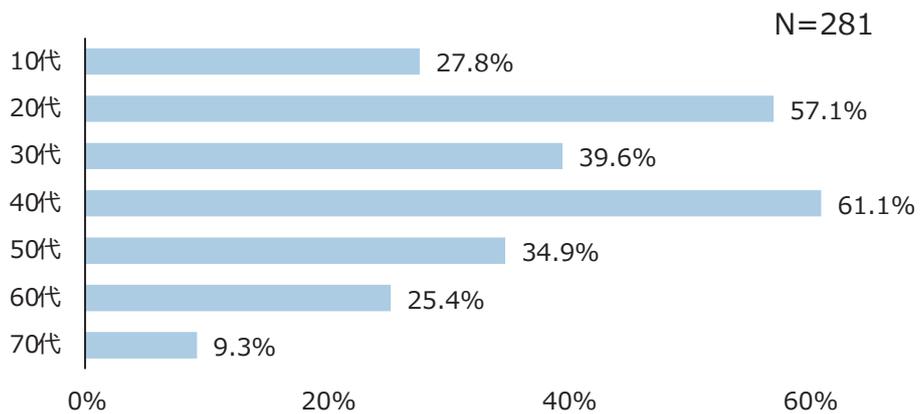


- ◆ 市外での鑑賞理由の最も多いのは 55.7%の「興味のある公演や展覧会が開催されている」です。

問7 鑑賞していないのはなぜですか？



問7 参考 仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない



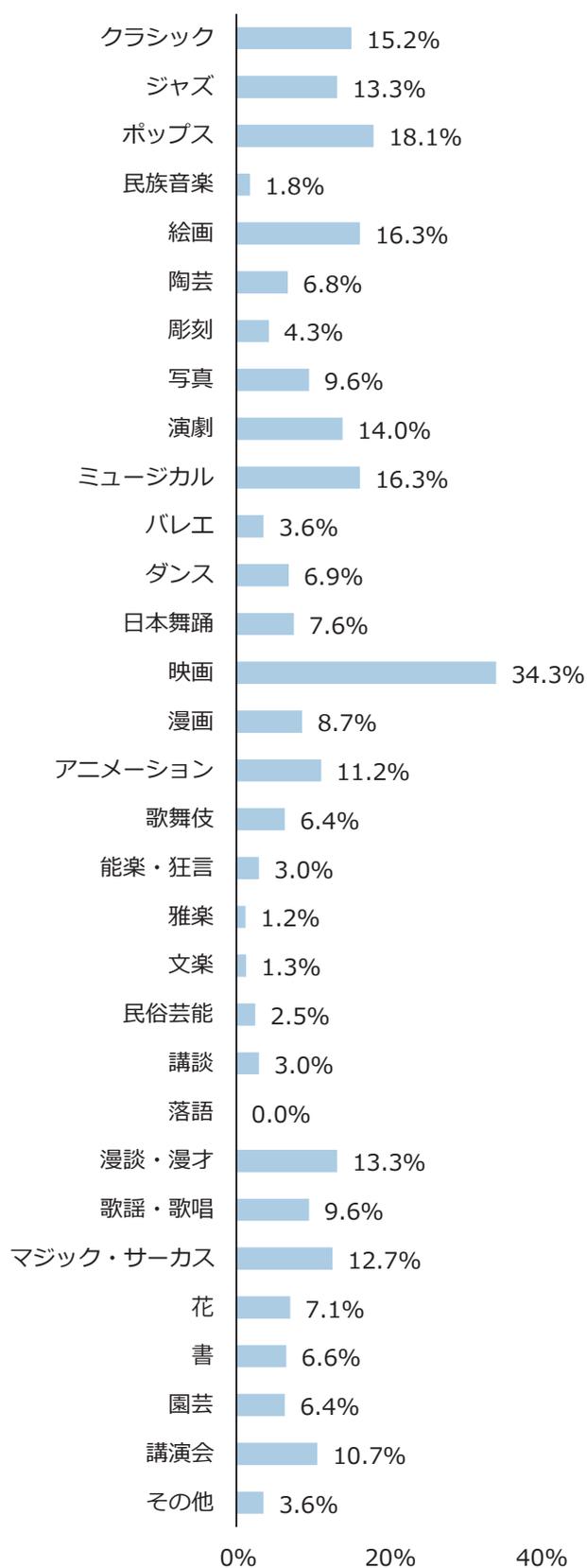
◆ 問6-1で鑑賞していないと回答した方のみへの質問です。

文化活動をしらない理由と同じように、最も多いのが「仕事や育児・家事が忙しく時間の余裕がない」34.2%でした。これを世代別で見ると、20～50代は他の世代に比べ割合が高く、文化活動をしらない理由の世代別の傾向と同様の結果が見られました。

問8 今後、鑑賞したいと思うものは
どれですか？

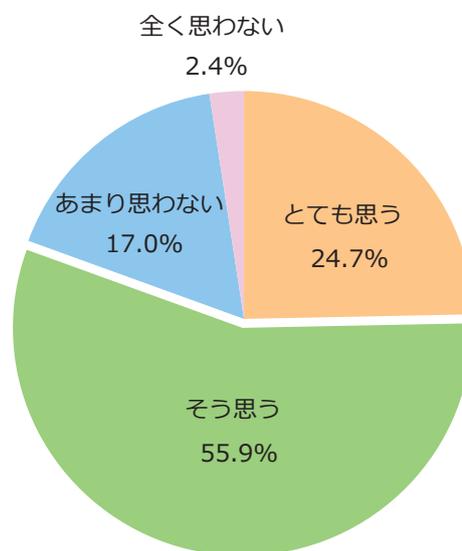
(複数回答)

N=607



問9 文化活動は人が豊かな
生活を送るために必要
だと思いますか？

N=705

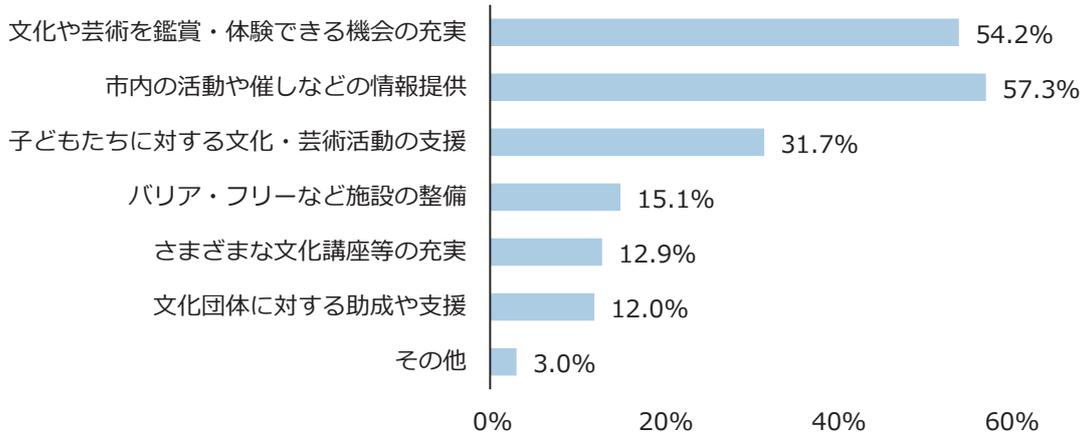


◆「とても思う」「そう思う」が80.6%と多くを占めており、文化活動が人の豊かな生活において必要であることの認識を多くの市民が抱いていることがわかります。

問 1 0 登別市の文化振興のため行政に求めることはなんですか？

(2つまで回答)

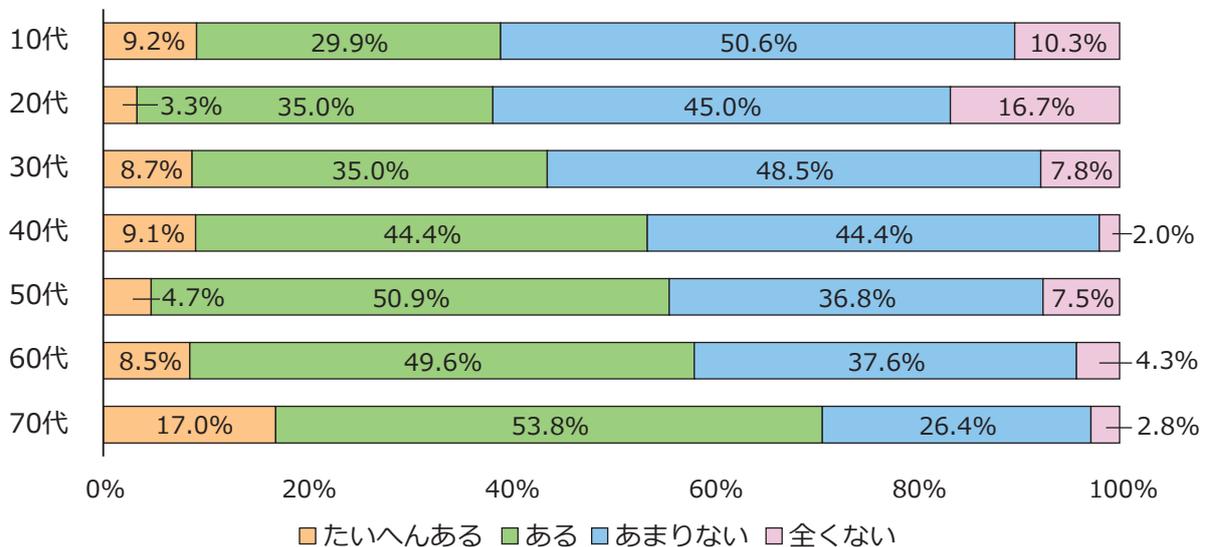
N=657



◆「活動や事業の情報提供」が 57.3%、「文化芸術の機会の充実」が 54.2%と他の回答に比べ高くなっており、平成 15 年の調査時と同じ傾向となっています

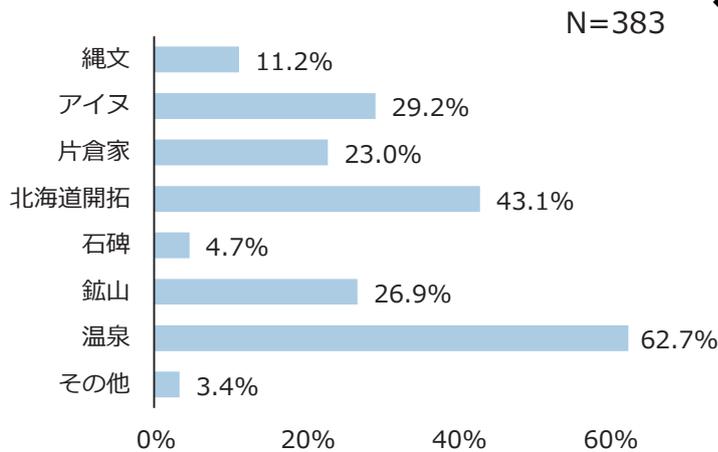
問 1 1-1 自分の住んでいる土地の歴史に関心がありますか？

N=702



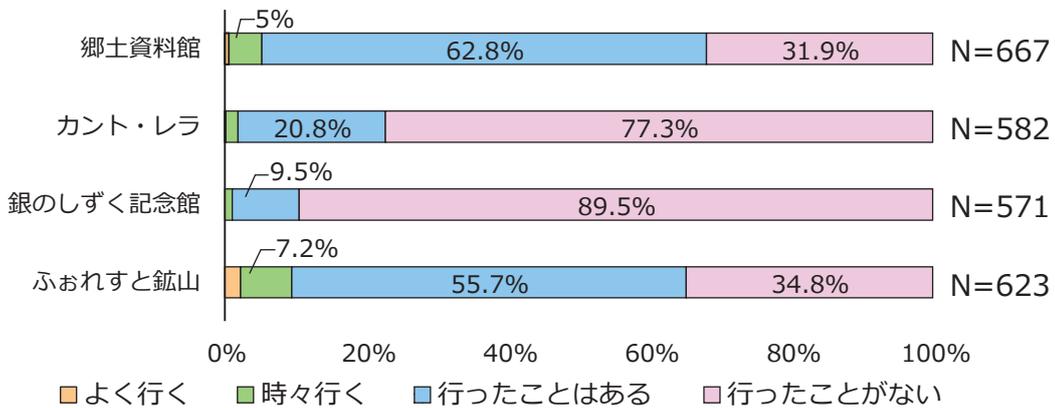
◆ 関心が「たいへんある」「ある」と答えた割合は、10 代の 39.1%が最も低く、70 代の 70.8%を最大に年代が上がるにつれて割合も多くなっています。問 1 の文化の関心と同様の傾向が見られます。

問 1 1 -2 市内の歴史や文化財で関心のあるものはなんですか？（複数回答）



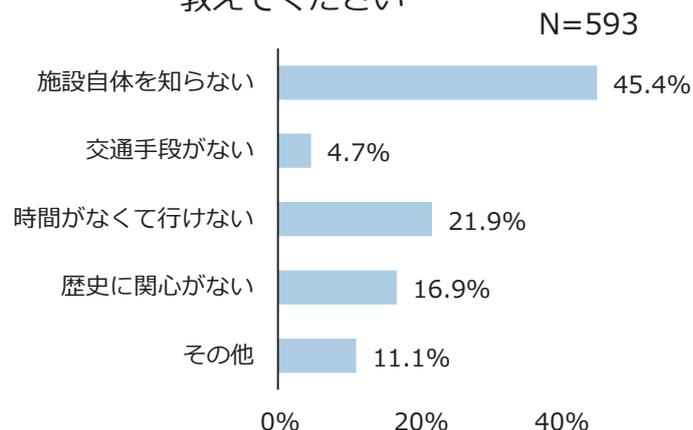
◆「温泉」が62.7%と最も多く、次に「北海道開拓」の43.1%が多い割合でした。登別市の顔である「温泉」や地名として身近に感じることでできるものへの関心が高くなっているものと思われます。

問 1 2 -1 市内の歴史を学ぶことのできる施設にどれくらい行きますか？



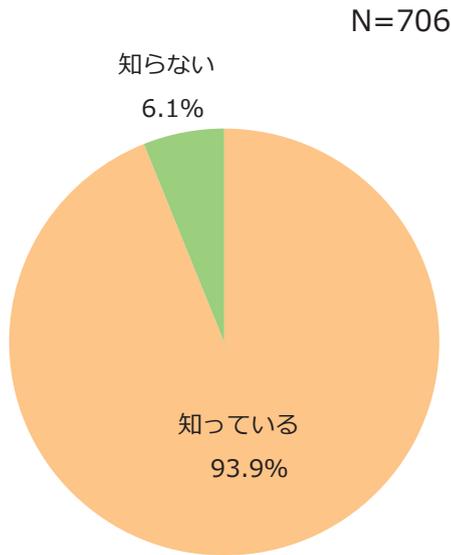
◆ 郷土資料館やふおれすと鉾山へ一度でも行ったことのある割合は約7割となっています。一方、カント・レラや銀のしずく記念館は1～2割程度であり、その差が顕著と言えます。理由として、開館年数の短さが大きく影響しているとみられ、ふおれすと鉾山のよう歴史を学ぶという目的ではなく野外体験を主目的とした利用が多く含まれていると考えられます。

問 1 2 -2 行ったことがない理由を教えてください



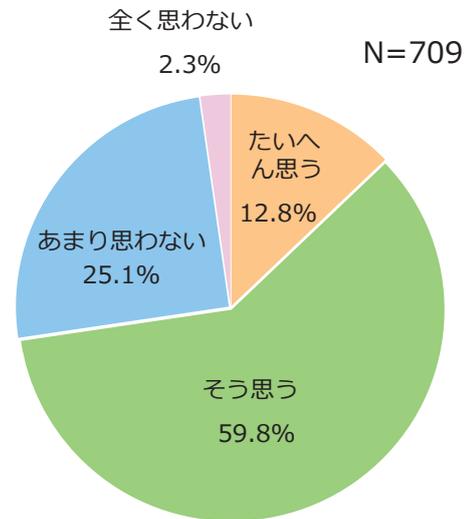
◆ 最も多いのは「施設自体を知らない」の45.4%です。ここからは、施設の活動などの情報提供が不足している、またはうまく作用していないことがわかります。これは問 12-1 と同じように、開館年数の短さが影響しているものと考えられます。

問13 アイヌ民族は日本の先住民族であることを知っていますか？



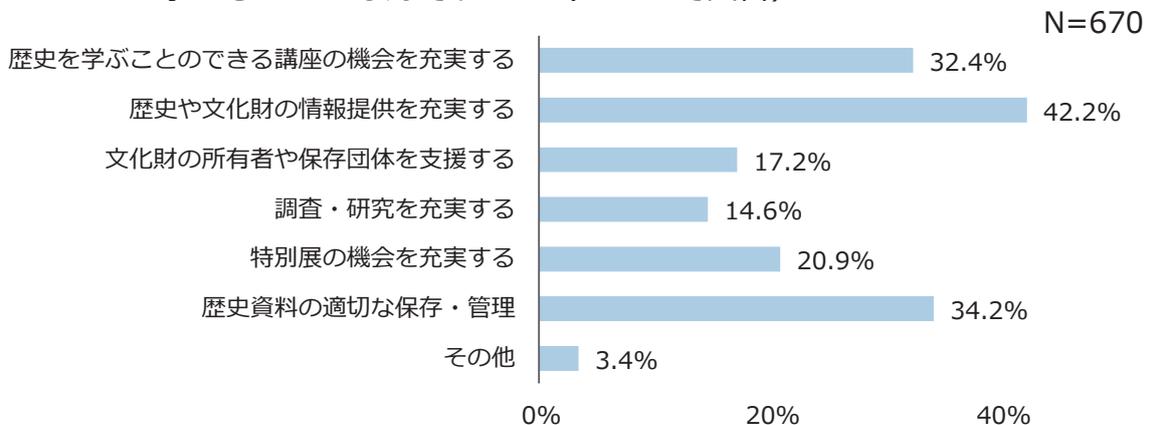
◆ アイヌ民族が日本の先住民族であることを知っている割合は93.9%とほとんどを占めています。世代においても全世代において90%を超えています。

問14 私たちが生活していくうえで自分の住んでいる土地の歴史を知ることが必要なことだと思いますか？



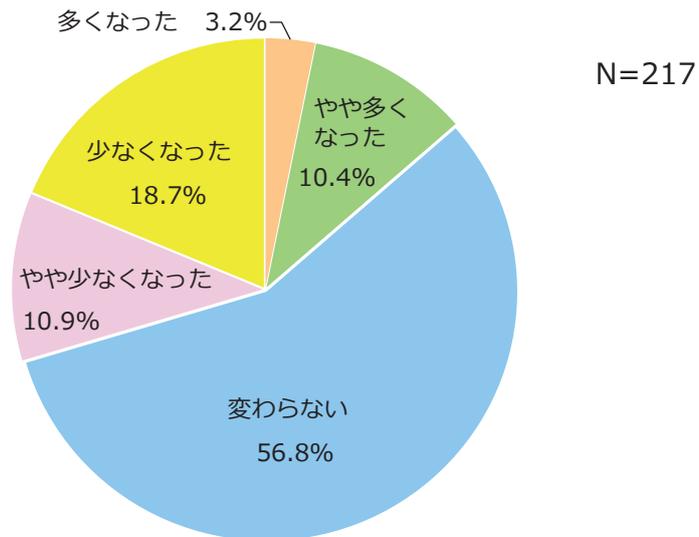
◆ 生活するうえで住む土地の歴史を知ることが必要と思う割合は、「たいへん思う」「そう思う」が74.3%を占めており、多くの市民が必要と認識していることがわかります。世代別で見ても「思う」と答えた割合が最も低い20代でも60%を超えており、問11-1の結果と合わせると「関心はないが必要と思う」という結果が得られたこととなります。

問15 登別市の歴史や文化財を未来に保存し、伝えていくため行政に求めることはなんですか？（2つまで回答）



◆ 特別多い項目はありませんが、「講座機会の充実」「情報提供の充実」「資料の保存・管理」の回答が高く、登別市の歴史の保存と活用に対する項目に回答が集まっています。本市の歴史の充実や保存管理の基礎作業であるため、市民の目に触れることが少ないことも影響してか「調査・研究の充実」は14.6%と最も低い結果となっています。

問16 10年前より文化や歴史に触れる機会は変化しましたか？



◆ この設問の「触れる機会」の多少は、実際に鑑賞や講演などの実施数が少なくなったと感じる周囲の環境、そして仕事や子育て、健康状態などの自身の環境という2つの環境による影響があると考えられます。

「変わらない」が56.8%と最も多く占めていますが、その理由としては前述のように様々な理由が想定されるため、今回のアンケートからは周囲と自身どちらの環境がどの程度影響しているかまではわかりません。しかし、「多くなった」「やや多くなった」と回答した割合13.6%に対し、「少なくなった」「やや少なくなった」が約30%と高く、平成15年の調査時の文化に接する機会が多いと回答した5.6%に対し、少ないという回答が63%と優勢だった時の状況が依然として続いていると見ることもできます。

文化と歴史

以下の問いに当てはまる番号に○をお付けください

問1 文化に関心がありますか？次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. ある
2. ない
3. わからない

問2 文化活動をしていますか？次の中から選んで番号に○をつけてください。

1. している ⇒問3-1へ
2. していない ⇒問4へ

問3-1 問2で「1. している」と答えた方への質問
よくしている活動は何ですか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数可)

1. 文学・文芸 (俳句・随筆・詩・読み聞かせなど)
2. 音楽 (演奏・合唱・民謡など)
3. 美術 (絵画・工芸・写真など)
4. 演劇・舞踊 (ダンス・日本舞踊など)
5. メディア芸術 (映画・漫画・アニメーションなど)
6. 伝統芸能 (民俗芸能・歌舞伎など)
7. 芸能 (講談・落語・漫談・歌謡など)
8. 生活文化 (茶・花・園芸・書・料理など)
9. 国民娯楽 (囲碁・将棋など)
10. 歴史・文化財 (郷土史・石碑など)

問3-2 サークルや団体、教室に入っていますか？次の中から選んで○をつけてください。

1. 入っている
2. 入っていない

問3-3 どこで文化活動をしていますか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数可)

1. 市内の公共施設 (施設名)
2. 市内の民間施設
3. 自宅
4. 市外 (施設名)
5. その他 ()

問4 問2で「2. していない」と答えた方への質問
文化活動をしていないのはなぜですか？次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 経済的に余裕がない
2. 仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない
3. 活動のできる場所や事業の情報が入手できない
4. 活動するための施設がない
5. 一緒に活動する仲間がない
6. 指導者がいない
7. 文化に関心がない
8. その他 ()

問5 これからも、または今後してみたいと思う活動はどれですか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数可) ※鑑賞でない

1. 小説 2. 随筆 3. 詩 4. 短歌
5. 俳句 6. 川柳 7. 読み聞かせ
8. 演奏(クラシック) 9. 演奏(ポップス)
10. 演奏(ジャズ) 11. 合唱 12. 民謡
13. 絵画 14. 陶芸 15. 彫刻 16. 工芸
17. 写真 18. 演劇 19. ミュージカル 20. バレエ
21. ダンス 22. 日本舞踊 23. 映画
24. 漫画 25. アニメーション 26. 民俗芸能
27. 講談 28. 落語 29. 浪曲 30. 漫談
31. マジック 32. 歌謡・歌唱 33. 茶道
34. 華道 35. 囲碁 36. 将棋 37. 歴史・文化財
38. その他 ()

次のページに進んでください

問6-1 この1年間で鑑賞したものはどれですか？
次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数可)
鑑賞していない場合 ⇒問7へ

1. クラシック
2. ジャズ
3. ポップス
4. 民族音楽
5. 絵画
6. 陶芸
7. 彫刻
8. 写真
9. 演劇
10. ミュージカル
11. バレエ
12. ダンス
13. 日本舞踊
14. 映画
15. 漫画
16. アニメーション
17. 歌舞伎
18. 能楽・狂言
19. 雅楽
20. 文楽
21. 民俗芸能
22. 講談
23. 落語
24. 漫談・漫才
25. 歌謡・歌唱
26. マジック・サーカス
27. 花
28. 書
29. 園芸
30. 講演会
31. その他 ()

問6-2 **鑑賞した方への質問**

どの地域で鑑賞しましたか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数可)

1. 登別市内 ⇒問8へ
 2. 室蘭市
 3. 伊達市
 4. 札幌市
 5. その他 ()
- } ⇒問6-3へ

問6-3 **登別市以外で鑑賞したことのある方への質問**

なぜ市外で鑑賞しましたか？次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. 興味のある公演や展覧会が開催されている
2. 一緒に鑑賞する仲間がいる
3. 家族や知人が出演・展示している
4. その他 ()

問7 **問6-1で「鑑賞していない」とした方への質問**

鑑賞していないのはなぜですか？次の中から1つだけ選んで番号に○をつけてください。

1. 経済的に余裕がない
2. 仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない
3. 鑑賞事業の情報が入手できない
4. 興味のある鑑賞事業が開催されていない
5. 一緒に鑑賞する仲間がいない
6. 文化に関心がない

問8 今後、鑑賞したいと思うものはどれですか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数可)

1. クラシック
2. ジャズ
3. ポップス
4. 民族音楽
5. 絵画
6. 陶芸
7. 彫刻
8. 写真
9. 演劇
10. ミュージカル
11. バレエ
12. ダンス
13. 日本舞踊
14. 映画
15. 漫画
16. アニメーション
17. 歌舞伎
18. 能楽・狂言
19. 雅楽
20. 文楽
21. 民俗芸能
22. 講談
23. 落語
24. 漫談・漫才
25. 歌謡・歌唱
26. マジック・サーカス
27. 花
28. 書
29. 園芸
30. 講演会
31. その他 ()

問9 文化活動は人が豊かな生活を送るために必要だと思いますか？次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. とても思う
2. そう思う
3. あまり思わない
4. 全く思わない

問10 登別市の文化振興のため行政に求めることはなんですか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(2つまで)

1. 文化や芸術を鑑賞・体験できる機会の充実
2. 市内の活動や催しなどの情報提供
3. 子どもたちに対する文化・芸術活動の支援
4. バリアフリーなど施設の整備
5. さまざまな文化講座等の充実
6. 文化団体に対する助成や支援
7. その他 ()

問11-1 自分の住んでいる土地の歴史に関心がありますか？次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1. たいへんある
 2. ある
 3. あまりない
 4. 全くない
- } ⇒問11-2へ
} ⇒問12-1へ

次のページに進んでください

問1 1-2 「1. たいへんある」「2. ある」と答えた方への質問

市内の歴史や文化財で関心のあるものは何ですか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(複数可)

1. 縄文
2. アイヌ
3. 片倉家
4. 北海道開拓
5. 石碑
6. 鉱山
7. 温泉
8. その他 ()

問1 2-1 市内の歴史を学ぶことのできる施設にどれくらい行きますか？それぞれ当てはまる数字に○をつけてください。

	よく行く	時々行く	行ったことはある	行ったことがない
郷土資料館	1 . . .	2 . . .	3 . . .	4
カント・レラ	1 . . .	2 . . .	3 . . .	4
銀のしずく記念館	1 . . .	2 . . .	3 . . .	4
ふおれすと鉱山	1 . . .	2 . . .	3 . . .	4



問1 2-2 「4. 行ったことがない」施設があった方への質問

行ったことがない理由を教えてください。次の中から1つだけ選んで番号に○をしてください。

1. 施設自体を知らない
2. 交通手段がない
3. 時間がなくて行けない
4. 歴史に関心がない
5. その他 ()

問1 3 アイヌ民族は日本の先住民族であることを知っていますか？次の中から選んで番号に○をつけてください。

1. 知っている
2. 知らない

※平成20年(2008年)には国会において、「アイヌ民族を先住民族とすることを求める決議」が全会一致で決定もなされています。

問1 4 私たちが生活していくうえで、自分の住んでいる土地の歴史を知ることが必要なことだと思いますか？次の中から1つ選んで○をつけてください。

1. たいへん思う
2. そう思う
3. あまり思わない
4. 全く思わない

問1 5 登別市の歴史や文化財を未来に保存し、伝えていくため行政に求めることはなんですか？次の中から選んで番号に○をつけてください。(2つまで)

1. 歴史を学ぶことのできる講座の機会を充実する
2. 歴史や文化財の情報提供を充実する
3. 文化財の所有者や保存団体を支援する
4. 調査・研究を充実する
5. 特別展の機会を充実する
6. 歴史資料の適切な保存・管理
7. その他 ()

問1 6 10年前より文化や歴史に触れる機会は変化しましたか？5点満点で数字に○をつけてください。

多くなった	変わらない			少なくなった
1 . . .	2 . . .	3 . . .	4 . . .	5

問1 7 登別市の文化や歴史について、またその政策・取り組みについてのご意見・ご要望がありましたらご記入ください。

■ アンケート数値一覧

調査対象者		
男	女	N
967人	1028人	1995人
48%	52%	

n : 設問に対する回答数 (サンプル)
N : 設問に対する回答者数 (母集団)

※選択設問を選択せずに複数回答されている場合がありますが、傾向に大きな影響がないと考え、そのまま記載しています。

回収数			
	男	女	N
10代	37人	51人	88人
20代	23人	38人	61人
30代	46人	58人	104人
40代	47人	52人	99人
50代	54人	54人	108人
60代	73人	71人	144人
70代	66人	49人	115人
全体	346人	373人	719人

問1 文化に関心がありますか？							
	ある		ない		わからない		N
	n	%	n	%	n	%	
10代	35	39.8%	27	30.7%	26	29.5%	88
20代	28	45.9%	18	29.5%	15	24.6%	61
30代	46	44.2%	25	24.0%	33	31.7%	104
40代	47	47.5%	21	21.2%	31	31.3%	99
50代	55	51.9%	32	30.2%	19	17.9%	106
60代	74	52.1%	36	25.4%	32	22.5%	142
70代	81	71.7%	16	14.2%	16	14.2%	113
全体	366	51.3%	175	24.5%	172	24.1%	713

問2 文化活動をしていますか？					
	している		していない		N
	n	%	n	%	
10代	25	28.4%	63	71.6%	88
20代	13	21.3%	48	78.7%	61
30代	10	9.6%	94	90.4%	104
40代	9	9.2%	89	90.8%	98
50代	12	11.7%	91	88.3%	103
60代	23	16.5%	116	83.5%	139
70代	39	35.1%	72	64.9%	111
全体	131	18.6%	573	81.4%	704

問2 参考 文化活動をしている男女の割合		
男	女	N
54人	77人	131人
41%	59%	

問3-1 よくしている活動は何ですか？ (複数回答) ※問2で「1. している」と回答した方のみ												
	文学		音楽		美術		演劇・舞踊		メディア芸術		伝統芸能	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	3	12.0%	11	44.0%	7	28.0%	3	12.0%	5	20.0%	1	4.0%
20代	1	7.7%	2	15.4%	1	7.7%	3	23.1%	5	38.5%	0	0.0%
30代	0	0.0%	3	27.3%	3	27.3%	2	18.2%	6	54.5%	0	0.0%
40代	2	25.0%	3	37.5%	3	37.5%	1	12.5%	1	12.5%	0	0.0%
50代	0	0.0%	5	33.3%	2	13.3%	1	6.7%	4	26.7%	1	6.7%
60代	0	0.0%	0	0.0%	7	33.3%	6	28.6%	1	4.8%	1	4.8%
70代	5	12.8%	10	25.6%	10	25.6%	7	17.9%	1	2.6%	1	2.6%
全体	11	8.3%	34	25.8%	33	25.0%	23	17.4%	23	17.4%	4	3.0%

	芸能		生活文化		国民娯楽		歴史・文化財		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	1	4.0%	7	28.0%	1	4.0%	1	4.0%	25
20代	0	0.0%	2	15.4%	1	7.7%	0	0.0%	13
30代	0	0.0%	4	36.4%	0	0.0%	2	18.2%	11
40代	0	0.0%	3	37.5%	0	0.0%	0	0.0%	8
50代	14	93.3%	6	40.0%	0	0.0%	0	0.0%	15
60代	1	4.8%	10	47.6%	1	4.8%	0	0.0%	21
70代	3	7.7%	7	17.9%	7	17.9%	2	5.1%	39
全体	19	14.4%	39	29.5%	10	7.6%	5	3.8%	132

問3-2 サークルや団体、教室に入っていますか？ ※問2で「1. している」と回答した方のみ

	入っている		入っていない		N
	n	%	n	%	
10代	9	31.0%	20	69.0%	29
20代	5	29.4%	12	70.6%	17
30代	4	19.0%	17	81.0%	21
40代	3	17.6%	14	82.4%	17
50代	2	6.3%	30	93.8%	32
60代	17	30.4%	39	69.6%	56
70代	38	52.1%	35	47.9%	73
全体	78	31.8%	167	68.2%	245

問3-3 どこで文化活動をしていますか？（複数回答） ※問2で「1. している」と回答した方のみ

	市内の公共施設		市内の民間施設		自宅		市外		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	2	10.0%	0	0	6	30.0%	7	35.0%	9	45.0%	20
20代	0	0.0%	1	8.3%	7	58.3%	5	41.7%	1	8.3%	12
30代	2	16.7%	4	33.3%	5	41.7%	3	25.0%	3	25.0%	12
40代	1	12.5%	0	0.0%	4	50.0%	1	12.5%	3	37.5%	8
50代	4	30.8%	1	7.7%	7	53.8%	1	7.7%	1	7.7%	13
60代	14	53.8%	4	15.4%	7	26.9%	1	3.8%	4	15.4%	26
70代	25	59.5%	5	11.9%	11	26.2%	6	14.3%	1	2.4%	42
全体	48	36.1%	15	11.3%	47	35.3%	24	18.0%	22	16.5%	133

問4 文化活動をしていないのはなぜですか？ ※問2で「2. していない」と回答した方のみ

	経済的に余裕がない		仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない		活動のできる場所や事業の情報が入手できない		活動するための施設がない		一緒に活動する仲間がない		指導者がいない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	7	10.6%	14	21.2%	9	13.6%	1	1.5%	6	9.1%	0	0.0%
20代	9	18.0%	23	46.0%	4	8.0%	1	2.0%	2	4.0%	0	0.0%
30代	9	8.6%	53	50.5%	15	14.3%	3	2.9%	6	5.7%	0	0.0%
40代	14	14.4%	56	57.7%	7	7.2%	2	2.1%	3	3.1%	0	0.0%
50代	20	20.4%	47	48.0%	5	5.1%	0	0.0%	9	9.2%	0	0.0%
60代	19	15.1%	36	28.6%	20	15.9%	1	0.8%	20	15.9%	1	0.8%
70代	10	13.9%	4	5.6%	12	16.7%	0	0.0%	12	16.7%	1	1.4%
全体	88	14.3%	233	37.9%	72	11.7%	8	1.3%	58	9.4%	2	0.3%

	文化に関心がない		その他		N
	n	%	n	%	
10代	23	34.8%	6	9.1%	66
20代	10	20.0%	1	2.0%	50
30代	18	17.1%	1	1.0%	105
40代	10	10.3%	5	5.2%	97
50代	15	15.3%	2	2.0%	98
60代	19	15.1%	10	7.9%	126
70代	11	15.3%	22	30.6%	72
全体	106	17.3%	47	7.7%	614

問5 これからも、または今後もしてみたいと思う活動はどれですか？（複数回答）

	小説		随筆		詩		短歌		俳句		川柳	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	8	9.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
20代	4	7.7%	1	1.9%	1	1.9%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	5	9.1%	0	0.0%	1	1.8%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
40代	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.8%	1	1.3%
50代	1	1.1%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	3	3.4%	2	2.2%
60代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	3	3.8%	3	3.8%
70代	1	1.3%	1	1.3%	0	0.0%	2	2.6%	4	5.3%	7	9.2%
全体	20	3.9%	2	0.4%	2	0.4%	4	0.8%	13	2.5%	13	2.5%

	読み聞かせ		演奏（クラシック）		演奏（ポップス）		演奏（ジャズ）		合唱		民謡	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	4	4.9%	10	12.2%	17	20.7%	6	7.3%	5	6.1%	0	0.0%
20代	3	5.8%	7	13.5%	8	15.4%	6	11.5%	1	1.9%	0	0.0%
30代	3	5.5%	5	9.1%	8	14.5%	9	16.4%	1	1.8%	0	0.0%
40代	5	6.3%	3	3.8%	6	7.6%	2	2.5%	6	7.6%	1	1.3%
50代	7	7.9%	3	3.4%	11	12.4%	3	3.4%	4	4.5%	0	0.0%
60代	7	8.8%	2	2.5%	3	3.8%	4	5.0%	5	6.3%	2	2.5%
70代	2	2.6%	0	0.0%	3	3.9%	1	1.3%	2	2.6%	5	6.6%
全体	31	6.0%	30	5.8%	56	10.9%	31	6.0%	24	4.7%	8	1.6%

	絵画		陶芸		彫刻		工芸		写真		演劇	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	7	8.5%	2	2.4%	2	2.4%	3	3.7%	16	19.5%	2	2.4%
20代	5	9.6%	3	5.8%	3	5.8%	0	0.0%	13	25.0%	2	3.8%
30代	8	14.5%	21	38.2%	2	3.6%	2	3.6%	13	23.6%	3	5.5%
40代	10	12.7%	27	34.2%	4	5.1%	6	7.6%	8	10.1%	2	2.5%
50代	11	12.4%	29	32.6%	3	3.4%	8	9.0%	14	15.7%	1	1.1%
60代	17	21.3%	31	38.8%	3	3.8%	7	8.8%	16	20.0%	1	1.3%
70代	8	10.5%	8	10.5%	6	7.9%	6	7.9%	10	13.2%	0	0.0%
全体	66	12.9%	121	23.6%	23	4.5%	32	6.2%	90	17.5%	11	2.1%

	ミュージカル		バレエ		ダンス		日本舞踊		映画		漫画	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	1	1.2%	2	2.4%	15	18.3%	2	2.4%	10	12.2%	11	13.4%
20代	4	7.7%	0	0.0%	12	23.1%	0	0.0%	11	21.2%	7	13.5%
30代	2	3.6%	1	1.8%	10	18.2%	0	0.0%	9	16.4%	3	5.5%
40代	2	2.5%	2	2.5%	10	12.7%	2	2.5%	12	15.2%	3	3.8%
50代	2	2.2%	1	1.1%	8	9.0%	0	0.0%	6	6.7%	4	4.5%
60代	1	1.3%	0	0.0%	11	13.8%	2	2.5%	9	11.3%	0	0.0%
70代	1	1.3%	0	0.0%	7	9.2%	1	1.3%	4	5.3%	1	1.3%
全体	13	2.5%	6	1.2%	73	14.2%	7	1.4%	61	11.9%	29	5.7%

	アニメーション		民俗芸能		講談		落語		浪曲		漫談	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	15	18.3%	0	0.0%	1	1.2%	1	1.2%	0	0.0%	0	0.0%
20代	5	9.6%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
30代	1	1.8%	3	5.5%	0	0.0%	2	3.6%	0	0.0%	0	0.0%
40代	3	3.8%	0	0.0%	0	0.0%	2	2.5%	0	0.0%	0	0.0%
50代	5	5.6%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%	0	0.0%	1	1.1%
60代	0	0.0%	1	1.3%	1	1.3%	2	2.5%	1	1.3%	0	0.0%
70代	0	0.0%	1	1.3%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
全体	29	5.7%	6	1.2%	2	0.4%	8	1.6%	1	0.2%	1	0.2%

	マジック		歌唱・歌唱		茶道		華道		囲碁		将棋	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	8	9.8%	3	3.7%	9	11.0%	4	4.9%	1	1.2%	8	9.8%
20代	1	1.9%	1	1.9%	6	11.5%	3	5.8%	2	3.8%	2	3.8%
30代	2	3.6%	1	1.8%	6	10.9%	8	14.5%	0	0.0%	2	3.6%
40代	3	3.8%	1	1.3%	7	8.9%	13	16.5%	0	0.0%	2	2.5%
50代	1	1.1%	7	7.9%	6	6.7%	9	10.1%	5	5.6%	2	2.2%
60代	2	2.5%	19	23.8%	2	2.5%	9	11.3%	3	3.8%	4	5.0%
70代	0	0.0%	13	17.1%	4	5.3%	4	5.3%	15	19.7%	6	7.9%
全体	17	3.3%	45	8.8%	40	7.8%	50	9.7%	26	5.1%	26	5.1%

	歴史・文化財		その他		N
	n	%	n	%	
10代	4	4.9%	9	11.0%	82
20代	1	1.9%	5	9.6%	52
30代	10	18.2%	14	25.5%	55
40代	11	13.9%	16	20.3%	79
50代	8	9.0%	15	16.9%	89
60代	10	12.5%	8	10.0%	80
70代	4	5.3%	10	13.2%	76
全体	48	9.4%	77	15.0%	513

問6-1 この1年間で鑑賞したものはどれですか？（複数回答）

	クラシック		ジャズ		ポップス		民族音楽		絵画		陶芸	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	8	10.8%	4	5.4%	15	20.3%	0	0.0%	6	8.1%	1	1.4%
20代	2	4.5%	2	2.3%	9	20.5%	0	0.0%	4	9.1%	0	0.0%
30代	4	7.3%	1	7.3%	11	20.0%	0	0.0%	10	18.2%	3	5.5%
40代	11	16.7%	5	3.3%	13	19.7%	0	0.0%	7	10.6%	7	10.6%
50代	6	8.8%	4	2.2%	17	25.0%	3	4.4%	12	17.6%	5	7.4%
60代	10	12.5%	8	1.6%	12	15.0%	2	2.5%	22	27.5%	9	11.3%
70代	9	13.6%	1	13.6%	3	4.5%	1	1.5%	22	33.3%	10	15.2%
全体	50	11.0%	25	0.4%	80	17.7%	6	1.3%	83	18.3%	35	7.7%

	彫刻		写真		演劇		ミュージカル		バレエ		ダンス	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	1	1.4%	12	16.2%	8	10.8%	17	23.0%	2	2.7%	8	10.8%
20代	1	2.3%	5	11.4%	3	6.8%	4	9.1%	0	0.0%	5	11.4%
30代	1	1.8%	10	18.2%	6	10.9%	9	16.4%	2	3.6%	8	14.5%
40代	1	1.5%	5	7.6%	6	9.1%	6	9.1%	1	1.5%	3	4.5%
50代	2	2.9%	9	13.2%	3	4.4%	4	5.9%	2	2.9%	2	2.9%
60代	4	5.0%	10	12.5%	2	2.5%	9	11.3%	1	1.3%	3	3.8%
70代	1	1.5%	9	13.6%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	4	6.1%
全体	11	2.4%	60	13.2%	28	6.2%	50	11.0%	8	1.8%	33	7.3%

	日本舞踊		映画		漫画		アニメーション		歌舞伎		能楽・狂言	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	3	4.1%	42	56.8%	31	41.9%	30	40.5%	0	0.0%	1	1.4%
20代	0	0.0%	35	79.5%	21	47.7%	15	34.1%	1	2.3%	0	0.0%
30代	0	0.0%	32	58.2%	13	23.6%	11	20.0%	0	0.0%	0	0.0%
40代	1	1.5%	37	56.1%	6	9.1%	5	7.6%	0	0.0%	1	1.5%
50代	0	0.0%	40	58.8%	5	7.4%	7	10.3%	0	0.0%	0	0.0%
60代	3	3.8%	30	37.5%	2	2.5%	2	2.5%	4	5.0%	1	1.3%
70代	2	3.0%	12	18.2%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%
全体	9	2.0%	228	50.3%	78	17.2%	70	15.5%	6	1.3%	3	0.7%

	雅楽		文楽		民俗芸能		講談		落語		漫談・漫才	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	0	0.0%	0	0.0%	1	1.4%	2	2.7%	1	1.4%	7	9.5%
20代	1	2.3%	1	2.3%	0	0.0%	0	0.0%	1	2.3%	5	11.4%
30代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	1.8%	2	3.6%	5	9.1%
40代	0	0.0%	1	1.5%	0	0.0%	1	1.5%	1	1.5%	2	3.0%
50代	2	2.9%	0	0.0%	3	4.4%	0	0.0%	1	1.5%	2	2.9%
60代	1	1.3%	1	1.3%	1	1.3%	0	0.0%	3	3.8%	3	3.8%
70代	1	1.5%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	3.0%	0	0.0%
全体	5	1.1%	3	0.7%	5	1.1%	4	0.9%	11	2.4%	24	5.3%

	歌謡・歌唱		マジック・サーカス		花		書		園芸		講演会	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	2.7%	4	5.4%	2	2.7%	3	4.1%	0	0.0%	6	8.1%
20代	0	0.0%	0	0.0%	2	4.5%	1	2.3%	0	0.0%	1	2.3%
30代	0	0.0%	6	10.9%	4	7.3%	2	3.6%	3	5.5%	5	9.1%
40代	4	6.1%	3	4.5%	6	9.1%	2	3.0%	5	7.6%	8	12.1%
50代	6	8.8%	0	0.0%	5	7.4%	1	1.5%	3	4.4%	12	17.6%
60代	15	18.8%	1	1.3%	15	18.8%	5	6.3%	9	11.3%	4	5.0%
70代	17	25.8%	0	0.0%	10	15.2%	10	15.2%	8	12.1%	5	7.6%
全体	44	9.7%	14	3.1%	44	9.7%	24	5.3%	28	6.2%	41	9.1%

	その他		N
	n	%	
10代	3	4.1%	74
20代	2	4.5%	44
30代	2	3.6%	55
40代	4	6.1%	66
50代	5	7.4%	68
60代	7	8.8%	80
70代	6	9.1%	66
全体	29	6.4%	453

問6-1 (参考) この1年間で文化芸術の鑑賞をしましたか？

	した		してない		N
	n	%	n	%	
	453	63%	266	37%	719

※アンケート回収数 (N=719) と問6-1 (N=453) より算出。

	問6-2 どの地域で鑑賞しましたか？ (複数回答) ※問6-1で回答した方のみ						N				
	登別市内		室蘭市		伊達市			札幌市		その他	
	n	%	n	%	n	%		n	%	n	%
10代	29	40.3%	32	44.4%	1	1.4%	34	47.2%	14	19.4%	72
20代	11	26.2%	18	42.9%	3	7.1%	21	50.0%	7	16.7%	42
30代	19	34.5%	26	47.3%	4	7.3%	27	49.1%	15	27.3%	55
40代	17	26.6%	36	56.3%	1	1.6%	28	43.8%	10	15.6%	64
50代	29	41.4%	40	57.1%	3	4.3%	24	34.3%	6	8.6%	70
60代	29	37.2%	41	52.6%	5	6.4%	25	32.1%	8	10.3%	78
70代	40	66.7%	26	43.3%	8	13.3%	16	26.7%	2	3.3%	60
全体	174	39.5%	219	49.7%	25	5.7%	175	39.7%	62	14.1%	441

問6-3 なぜ市外で鑑賞しましたか？ ※問6-2で「1. 登別市内」以外で回答した方のみ

	興味のある公演や 展示会が開催 されている		一緒に鑑賞する 仲間がいる		家族や知人が 出展している		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
	10代	22	36.1%	10	16.4%	7	11.5%	22	
20代	19	50.0%	8	21.1%	2	5.3%	9	23.7%	38
30代	35	71.4%	2	4.1%	6	12.2%	6	12.2%	49
40代	36	63.2%	3	5.3%	6	10.5%	12	21.1%	57
50代	36	61.0%	10	16.9%	5	8.5%	8	13.6%	59
60代	37	56.9%	11	16.9%	10	15.4%	7	10.8%	65
70代	21	51.2%	10	24.4%	8	19.5%	2	4.9%	41
全体	206	55.7%	54	14.6%	44	11.9%	66	17.8%	370

問7 鑑賞していないのはなぜですか？ ※問6-1で回答していない方のみ

	経済的に余裕がない		仕事や育児、家事が忙しく時間の余裕がない		鑑賞事業の情報が入手できない		興味のある鑑賞事業が開催されていない		一緒に鑑賞する仲間がいない	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	1	5.6%	5	27.8%	0	0.0%	4	22.2%	0	0.0%
20代	2	9.5%	12	57.1%	0	0.0%	4	19.0%	2	9.5%
30代	9	17.0%	21	39.6%	7	13.2%	8	15.1%	1	1.9%
40代	5	13.9%	22	61.1%	1	2.8%	3	8.3%	0	0.0%
50代	8	18.6%	15	34.9%	3	7.0%	4	9.3%	3	7.0%
60代	11	16.4%	17	25.4%	8	11.9%	10	14.9%	7	10.4%
70代	7	16.3%	4	9.3%	8	18.6%	5	11.6%	7	16.3%
全体	43	15.3%	96	34.2%	27	9.6%	38	13.5%	20	7.1%

	文化に関心がない		N
	n	%	
10代	8	44.4%	18
20代	1	4.8%	21
30代	7	13.2%	53
40代	5	13.9%	36
50代	10	23.3%	43
60代	14	20.9%	67
70代	12	27.9%	43
全体	57	20.3%	281

問8 今後、鑑賞したいと思うものはどれですか？（複数回答）

	クラシック		ジャズ		ポップス		民族音楽		絵画		陶芸	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	13	16.3%	18	22.5%	21	26.3%	0	0.0%	14	17.5%	1	1.3%
20代	7	13.7%	7	13.7%	10	19.6%	1	2.0%	6	11.8%	2	3.9%
30代	15	16.7%	11	12.2%	9	10.0%	2	2.2%	11	12.2%	5	5.6%
40代	15	17.9%	6	7.1%	16	19.0%	0	0.0%	14	16.7%	5	6.0%
50代	14	14.7%	16	16.8%	32	33.7%	4	4.2%	17	17.9%	10	10.5%
60代	17	14.3%	15	12.6%	16	13.4%	3	2.5%	19	16.0%	7	5.9%
70代	11	12.5%	8	9.1%	6	6.8%	1	1.1%	18	20.5%	11	12.5%
全体	92	15.2%	81	13.3%	110	18.1%	11	1.8%	99	16.3%	41	6.8%

	彫刻		写真		演劇		ミュージカル		バレエ		ダンス	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	2	2.5%	12	15.0%	11	13.8%	20	25.0%	6	7.5%	13	16.3%
20代	2	3.9%	7	13.7%	7	13.7%	15	29.4%	3	5.9%	8	15.7%
30代	1	1.1%	6	6.7%	15	16.7%	17	18.9%	2	2.2%	10	11.1%
40代	0	0.0%	5	6.0%	14	16.7%	22	26.2%	4	4.8%	5	6.0%
50代	4	4.2%	8	8.4%	22	23.2%	23	24.2%	1	1.1%	2	2.1%
60代	9	7.6%	10	8.4%	15	12.6%	0	0.0%	5	4.2%	0	0.0%
70代	8	9.1%	10	11.4%	1	1.1%	2	2.3%	1	1.1%	4	4.5%
全体	26	4.3%	58	9.6%	85	14.0%	99	16.3%	22	3.6%	42	6.9%

	日本舞踊		映画		漫画		アニメーション		歌舞伎		能楽・狂言	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	4	5.0%	34	42.5%	16	20.0%	21	26.3%	3	3.8%	1	1.3%
20代	0	0.0%	26	51.0%	14	27.5%	12	23.5%	3	5.9%	3	5.9%
30代	2	2.2%	37	41.1%	13	14.4%	10	11.1%	5	5.6%	3	3.3%
40代	1	1.2%	43	51.2%	4	4.8%	6	7.1%	7	8.3%	4	4.8%
50代	0	0.0%	45	47.4%	4	4.2%	10	10.5%	10	10.5%	4	4.2%
60代	38	31.9%	2	1.7%	1	0.8%	9	7.6%	4	3.4%	2	1.7%
70代	1	1.1%	21	23.9%	1	1.1%	0	0.0%	7	8.0%	1	1.1%
全体	46	7.6%	208	34.3%	53	8.7%	68	11.2%	39	6.4%	18	3.0%

	雅楽		文楽		民俗芸能		講談		落語		漫談・漫才	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	0	0.0%	1	1.3%	2	2.5%	0	0.0%	4	5.0%	10	12.5%
20代	1	2.0%	1	2.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	6	11.8%
30代	0	0.0%	1	1.1%	3	3.3%	0	0.0%	6	6.7%	13	14.4%
40代	0	0.0%	1	1.2%	1	1.2%	1	1.2%	7	8.3%	13	15.5%
50代	3	3.2%	1	1.1%	3	3.2%	3	3.2%	14	14.7%	12	12.6%
60代	2	1.7%	3	2.5%	2	1.7%	13	10.9%	13	10.9%	23	19.3%
70代	1	1.1%	0	0.0%	4	4.5%	1	1.1%	3	3.4%	4	4.5%
全体	7	1.2%	8	1.3%	15	2.5%	18	3.0%	47	7.7%	81	13.3%

	歌謡・歌唱		マジック・サーカス		花		書		園芸		講演会	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	6	7.5%	17	21.3%	1	1.3%	3	3.8%	0	0.0%	3	3.8%
20代	1	2.0%	6	11.8%	1	2.0%	2	3.9%	1	2.0%	2	3.9%
30代	4	4.4%	17	18.9%	9	10.0%	3	3.3%	6	6.7%	3	3.3%
40代	6	7.1%	10	11.9%	8	9.5%	1	1.2%	5	6.0%	36	42.9%
50代	11	11.6%	10	10.5%	11	11.6%	1	1.1%	7	7.4%	8	8.4%
60代	7	5.9%	16	13.4%	5	4.2%	19	16.0%	3	2.5%	5	4.2%
70代	23	26.1%	1	1.1%	8	9.1%	11	12.5%	17	19.3%	8	9.1%
全体	58	9.6%	77	12.7%	43	7.1%	40	6.6%	39	6.4%	65	10.7%

	その他		N
	n	%	
10代	4	5.0%	80
20代	2	3.9%	51
30代	3	3.3%	90
40代	5	6.0%	84
50代	8	8.4%	95
60代	0	0.0%	119
70代	0	0.0%	88
全体	22	3.6%	607

問9 文化活動は人が豊かな生活を送るために必要だと思いますか？

	とても思う		そう思う		あまり思わない		全く思わない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	25	28.7%	45	51.7%	14	16.1%	3	3.4%	87
20代	16	26.2%	27	44.3%	16	26.2%	2	3.3%	61
30代	24	23.3%	57	55.3%	20	19.4%	2	1.9%	103
40代	18	18.6%	59	60.8%	19	19.6%	1	1.0%	97
50代	33	30.8%	52	48.6%	19	17.8%	3	2.8%	107
60代	25	17.7%	93	66.0%	18	12.8%	5	3.5%	141
70代	33	30.3%	61	56.0%	14	12.8%	1	0.9%	109
全体	174	24.7%	394	55.9%	120	17.0%	17	2.4%	705

問10 登別市の文化振興のため行政に求めることはなんですか？（2つまで回答）

	文化や芸術を鑑賞・体験できる機会の充実		市内の活動や催しなどの情報提供		子どもたちに対する文化・芸術活動の支援		バリアフリーなど施設の整備		さまざまな文化講座等の充実		文化団体に対する助成や支援	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	45	52.9%	14	16.5%	31	36.5%	24	28.2%	7	8.2%	4	4.7%
20代	30	52.6%	15	26.3%	27	47.4%	11	19.3%	3	5.3%	4	7.0%
30代	57	57.0%	33	33.0%	40	40.0%	12	12.0%	9	9.0%	9	9.0%
40代	53	55.8%	23	24.2%	37	38.9%	10	10.5%	15	15.8%	10	10.5%
50代	56	56.6%	39	39.4%	31	31.3%	12	12.1%	17	17.2%	11	11.1%
60代	68	53.5%	43	33.9%	27	21.3%	21	16.5%	23	18.1%	14	11.0%
70代	47	50.0%	37	78.7%	15	16.0%	9	9.6%	11	11.7%	27	28.7%
全体	356	54.2%	204	57.3%	208	31.7%	99	15.1%	85	12.9%	79	12.0%

	その他		N
	n	%	
10代	5	5.9%	85
20代	4	7.0%	57
30代	4	4.0%	100
40代	1	1.1%	95
50代	0	0.0%	99
60代	3	2.4%	127
70代	3	3.2%	94
全体	20	3.0%	657

問11-1 自分の住んでいる土地の歴史に関心がありますか？

	たいへんある		ある		あまりない		全くない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	8	9.2%	26	29.9%	44	50.6%	9	10.3%	87
20代	2	3.3%	21	35.0%	27	45.0%	10	16.7%	60
30代	9	8.7%	36	35.0%	50	48.5%	8	7.8%	103
40代	9	9.1%	44	44.4%	44	44.4%	2	2.0%	99
50代	5	4.7%	54	50.9%	39	36.8%	8	7.5%	106
60代	12	8.5%	70	49.6%	53	37.6%	6	4.3%	141
70代	18	17.0%	57	53.8%	28	26.4%	3	2.8%	106
全体	63	9.0%	308	43.9%	285	40.6%	46	6.6%	702

問11-2

市内の歴史や文化財で関心のあるものはなんですか？（複数回答）

※問11-1で「1. たいへんある」「2. ある」と回答した方のみ

	縄文		アイヌ		片倉家		北海道開拓		石碑		鉱山	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	6	16.2%	11	29.7%	9	24.3%	13	35.1%	3	8.1%	11	29.7%
20代	1	4.3%	9	39.1%	2	8.7%	6	26.1%	0	0.0%	4	17.4%
30代	2	4.3%	11	23.4%	10	21.3%	17	36.2%	2	4.3%	15	31.9%
40代	9	16.7%	15	27.8%	12	22.2%	26	48.1%	4	7.4%	21	38.9%
50代	4	6.6%	24	39.3%	12	19.7%	31	50.8%	1	1.6%	10	16.4%
60代	13	15.7%	22	26.5%	15	18.1%	37	44.6%	4	4.8%	28	33.7%
70代	8	10.3%	20	25.6%	28	35.9%	35	44.9%	4	5.1%	14	17.9%
全体	43	11.2%	112	29.2%	88	23.0%	165	43.1%	18	4.7%	103	26.9%

	温泉		その他		計
	n	%	n	%	
10代	24	64.9%	0	0.0%	37
20代	18	78.3%	1	4.3%	23
30代	34	72.3%	1	2.1%	47
40代	34	63.0%	1	1.9%	54
50代	42	68.9%	4	6.6%	61
60代	50	60.2%	2	2.4%	83
70代	38	48.7%	4	5.1%	78
全体	240	62.7%	13	3.4%	383

問12-1

市内の歴史を学ぶことのできる施設にどれくらい行きますか？

郷土資料館

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		計
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	2	2%	59	68.6%	25	29.1%	86
20代	0	0.0%	1	2%	38	63.3%	21	35.0%	60
30代	0	0.0%	6	6%	58	56.9%	38	37.3%	102
40代	0	0.0%	1	1%	54	58.1%	38	40.9%	93
50代	0	0.0%	3	3%	59	59.0%	38	38.0%	100
60代	0	0.0%	5	4%	92	70.2%	34	26.0%	131
70代	4	4.2%	13	14%	59	62.1%	19	20.0%	95
全体	4	0.6%	31	5%	419	62.8%	213	31.9%	667

カント・レラ

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	0	0.0%	22	25.9%	63	74.1%	85
20代	0	0.0%	2	3.4%	6	10.3%	50	86.2%	58
30代	0	0.0%	0	0.0%	14	14.7%	81	85.3%	95
40代	1	1.1%	1	1.1%	23	25.8%	64	71.9%	89
50代	0	0.0%	2	2.2%	15	16.1%	76	81.7%	93
60代	0	0.0%	1	1.0%	24	22.9%	80	76.2%	105
70代	0	0.0%	4	7.0%	17	29.8%	36	63.2%	57
全体	1	0.2%	10	1.7%	121	20.8%	450	77.3%	582

銀のしずく記念館

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	0	0.0%	0	0.0%	2	2.4%	80	97.6%	82
20代	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	58	100.0%	58
30代	0	0.0%	0	0.0%	4	4.2%	92	95.8%	96
40代	0	0.0%	0	0.0%	7	8.2%	78	91.8%	85
50代	0	0.0%	1	1.1%	9	9.7%	83	89.2%	93
60代	0	0.0%	1	1.0%	24	22.9%	80	76.2%	105
70代	0	0.0%	4	7.7%	8	15.4%	40	76.9%	52
全体	0	0.0%	6	1.1%	54	9.5%	511	89.5%	571

ふおれすと鉱山

	よく行く		時々行く		行ったことはある		行ったことがない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	2	2.3%	8	9.2%	65	74.7%	12	13.8%	87
20代	1	1.7%	2	3.3%	34	56.7%	23	38.3%	60
30代	3	3.0%	11	11.1%	49	49.5%	36	36.4%	99
40代	5	5.4%	7	7.6%	52	56.5%	28	30.4%	92
50代	1	1.0%	4	4.0%	53	53.5%	41	41.4%	99
60代	0	0.0%	7	5.9%	61	51.3%	51	42.9%	119
70代	2	3.0%	6	9.0%	33	49.3%	26	38.8%	67
全体	14	2.2%	45	7.2%	347	55.7%	217	34.8%	623

問1 2-2 行ったことがない理由を教えてください ※問1 2-1で「4. 行ったことがない」施設があった方のみ回答

	施設自体を知らない		交通手段がない		時間がなく行けない		歴史に関心がない		その他		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	44	59.5%	4	5.4%	7	9.5%	16	21.6%	3	4.1%	74
20代	37	60.7%	0	0.0%	12	19.7%	10	16.4%	2	3.3%	61
30代	51	53.7%	0	0.0%	22	23.2%	13	13.7%	9	9.5%	95
40代	36	40.0%	4	4.4%	29	32.2%	14	15.6%	7	7.8%	90
50代	33	35.5%	7	7.5%	27	29.0%	16	17.2%	10	10.8%	93
60代	43	40.6%	7	6.6%	23	21.7%	22	20.8%	11	10.4%	106
70代	25	33.8%	6	8.1%	10	13.5%	9	12.2%	24	32.4%	74
全体	269	45.4%	28	4.7%	130	21.9%	100	16.9%	66	11.1%	593

問1 3 アイヌ民族は日本の先住民族であることを知っていますか？

	知っている		知らない		N
	n	%	n	%	
10代	81	92.0%	7	8.0%	88
20代	56	91.8%	5	8.2%	61
30代	94	92.2%	8	7.8%	102
40代	94	94.9%	5	5.1%	99
50代	101	93.5%	7	6.5%	108
60代	133	94.3%	8	5.7%	141
70代	104	97.2%	3	2.8%	107
全体	663	93.9%	43	6.1%	706

問1 4 私たちが生活していくうえで、自分の住んでいる土地の歴史を知ることは必要なことだと思いますか？

	たいへん思う		そう思う		あまり思わない		全く思わない		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	14	15.9%	41	46.6%	29	33.0%	4	4.5%	88
20代	6	9.8%	35	57.4%	17	27.9%	3	4.9%	61
30代	10	9.7%	60	58.3%	31	30.1%	2	1.9%	103
40代	13	13.1%	62	62.6%	24	24.2%	0	0.0%	99
50代	11	10.3%	64	59.8%	28	26.2%	4	3.7%	107
60代	13	9.4%	89	64.0%	35	25.2%	2	1.4%	139
70代	24	21.4%	73	65.2%	14	12.5%	1	0.9%	112
全体	91	12.8%	424	59.8%	178	25.1%	16	2.3%	709

問1 5 登別市の歴史や文化財を未来に保存し、伝えていくため行政に求めることはなんですか？（2つまで回答）

	歴史を学ぶことのできる講座の機会を充実する		歴史や文化財の情報提供を充実する		文化財の所有者や保存団体を支援する		調査・研究を充実する		特別展の機会を充実する		歴史資料の適切な保存・管理	
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%
10代	37	42.5%	30	34.5%	14	16.1%	13	14.9%	18	20.7%	28	32.2%
20代	24	41.4%	23	39.7%	5	8.6%	8	13.8%	14	24.1%	17	29.3%
30代	29	28.4%	44	43.1%	14	13.7%	21	20.6%	25	24.5%	29	28.4%
40代	25	26.6%	38	40.4%	16	17.0%	20	21.3%	21	22.3%	35	37.2%
50代	30	29.4%	49	48.0%	23	22.5%	12	11.8%	22	21.6%	34	33.3%
60代	37	29.1%	51	40.2%	27	21.3%	13	10.2%	21	16.5%	52	40.9%
70代	35	35.0%	48	48.0%	16	16.0%	11	11.0%	19	19.0%	34	34.0%
全体	670	32.4%	283	42.2%	115	17.2%	98	14.6%	140	20.9%	229	34.2%

	その他		N
	n	%	
10代	3	3.4%	87
20代	2	3.4%	58
30代	4	3.9%	102
40代	1	1.1%	94
50代	3	2.9%	102
60代	6	4.7%	127
70代	4	4.0%	100
全体	23	3.4%	217

問1 6 10年前より文化や歴史に触れる機会は変化しましたか？

	1 (多くなった)		2 (やや多くなった)		3 (変わらない)		4 (やや少なくなった)		5 (少なくなった)		N
	n	%	n	%	n	%	n	%	n	%	
10代	4	4.9%	12	14.8%	43	53.1%	16	19.8%	6	7.4%	81
20代	2	3.3%	3	4.9%	30	49.2%	9	14.8%	17	27.9%	61
30代	1	1.0%	15	15.2%	50	50.5%	11	11.1%	22	22.2%	99
40代	2	2.1%	8	8.4%	63	66.3%	9	9.5%	13	13.7%	95
50代	0	0.0%	13	13.1%	57	57.6%	6	6.1%	23	23.2%	99
60代	4	3.1%	9	6.9%	78	60.0%	12	9.2%	27	20.8%	130
70代	8	8.2%	9	9.3%	55	56.7%	9	9.3%	16	16.5%	97
全体	21	3.2%	69	10.4%	376	56.8%	72	10.9%	124	18.7%	662

参考データ

◆登別市における将来推計人口

	1990年	2000年	2010年	2020年	2030年	2040年
計 (人)	55,571	54,761	51,526	47,345	42,015	36,411
			▲7%		▲18%	▲13%
0～14歳	9,598	7,291	6,086	4,926	3,868	3,337
			▲36%		▲36%	▲13%
15～64歳 (A) (生産人口)	38,670	36,369	30,802	25,239	22,536	18,665
			▲20%		▲26%	▲17%
65歳～ (B) 高齢者率	7,293 13.1%	11,097 20.3%	14,612 28.4%	17,180 36.3%	15,611 37.2%	14,409 39.6%
			+100%		+6%	▲7%
A ÷ B (高齢者1人を支える 生産人口数)	5.3人	3.2人	2.1人	1.4人	1.4人	1.2人
75歳～ ○人に1人	2,342 23人	4,565 12人	6,892 7.5人	9,044 5.2人	10,505 4人	8,785 4人
			+194%	+31%	+16%	▲16%
85歳～	321	944	1,862	1,729	2,121	2,053
			+480%	▲7%	+22%	▲3%

データ：1990年から2010年 各年の国勢調査

2020年以降 (独法) 国立社会保障・人口問題研究所『日本の地域別将来推計人口 (平成25年3月推計)』

(HP : <http://www.ipss.go.jp/pp-shicyoson/j/shicyoson13/t-page.asp>)

第2次登別市文化振興基本計画

平成27年 9月発行

編集・発行 登別市教育委員会

登別市富士町7丁目33番地
0143-88-1129
